

「はだの行革推進プラン」 進行管理シート

(平成 1 8 年 1 0 月 1 日現在)

「はだの行革推進プラン」進行管理シート目次

印の項目は、平成17年度10月時点で既に「A：全部実施」となっているため、シートは除いています。

項 目	担当課	改革(予定)年度
1 民間委託推進による業務改革		
(1) 指定管理者制度の導入		
1 広畑ふれあいプラザ	高齢福祉課	H18年度
2 総合体育館	スポーツ課	"
3 中央運動公園	"	"
4 中央こども公園	"	"
5 おおね公園	"	"
6 立野緑地庭球場	"	"
7 サンライフ鶴巻	"	"
(2) 業務の民間委託化		
8 害虫駆除業務	清掃事業所	H16年度
9 保健福祉センター管理業務	社会福祉課	H17年度
10 電話交換業務	財産管理課	"
11 自動車運転業務	"	"
12 保育園給食調理業務	児童福祉課	"
13 道路維持補修業務	道路安全課	"
14 小学校給食調理業務	学校教育課	"
15 公民館業務員業務	生涯学習課	"
16 ごみ収集業務 (2人乗車を先行実施)	清掃事業所	H18年度 (H17年度)
17 水道管管路管理業務	水道施設課	H18年度
18 学校業務員業務	教育総務課	"
19 図書館受付等業務	図書館	"
20 車両整備業務	財産管理課	H19年度
2 施設使用制度改革	担当課	改革着手年度
21 公民館	生涯学習課	H17年度
22 青少年会館	青少年課	"
23 ほうらい会館	人権同和対策室	"
24 中野健康センター	市民健康課	"
25 曲松児童センター	青少年課	"
26 里山ふれあいセンター	森林づくり課	"
27 学校開放施設	スポーツ課	H18年度
3 幼稚園・保育園改革	担当課	改革着手年度
28 幼稚園・保育園の一体化	教育総務課 児童福祉課	H16年度
29 幼稚園・小学校の一体化	教育総務課	H20年度
4 職員改革	担当課	改革着手年度
30 職員数の見直し	行政改革室	H16年度
31 特殊勤務手当の見直し	職員課	H17年度
32 高齢層職員の昇給停止年齢の引下げ	"	H18年度
33 勤勉手当の適正化	"	H17年度
34 管理職員特別勤務手当の廃止	"	H16年度
35 日当の廃止	"	H18年度
36 支度料の廃止	"	H17年度

項 目		担当課	改革(予定)年度
37	勤務時間の見直し	〃	〃
38	職員の意識改革と人材育成	〃	H16年度
5	一般施策改革	担当課	改革着手年度
39	ホームページによる情報提供の充実	-	H16年度
	-1 (統計情報の充実)	企画課	〃
	-2 (観光情報の充実)	観光課	〃
	-3 (財政情報の充実)	財政課	〃
	-4 (監査情報の充実)	監査事務局	H17年度
40	広域情報の提供	広報広聴室	H16年度
41	図書館開館時間の変更	図書館	〃
42	期日前投票所の増設	選挙管理委員会	H17年度
43	固定資産評価用地図台帳のデジタル化	資産税課	H16年度
44	都市計画基本図のデジタル化	都市計画課	H17年度
45	水道施設情報のデジタル化	水道施設課	〃
46	公文書管理システムの電子化推進	文書法制課	H18年度
47	電子申請、届出等行政手続のオンライン化推進	情報システム課	H17年度
48	緊急情報提供システムの構築	防災課	〃
49	使用料の見直し		〃
	-1 (農業用水道料金の新設)	水道業務課	〃
	-2 (スポーツ施設使用料の見直し)	スポーツ課	H18年度
	-3 (文化会館使用料の見直し)	文化会館	H20年度
50	手数料の見直し		H17年度
	-1 (ごみ処理手数料(事業系一般廃棄物)の見直し)	環境衛生課	〃
	-2 (粗大ごみ戸別収集処理手数料の見直し)	清掃事業所	〃
	-3 (粗大ごみ自己搬入処理手数料の見直し)	清掃事業所	〃
	-4 (情報公開手数料の見直し)	文書法制課	〃
	-5 (動物(ペット)死体処理手数料の見直し)	清掃事業所	H18年度
	-6 (し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の新設)	環境衛生課	H19年度
	-7 (道路位置指定手数料の新設)	建築指導課	H17年度
51	その他負担の見直し		H16年度
	-1 (国民健康保険基本健康診査負担金の導入)	国保年金課	〃
	-2 (高齢者等インフルエンザ予防接種費用の見直し)	市民健康課	〃
	-3 (放置自転車等移動料の見直し)	道路安全課	H18年度
	-4 (庁舎等駐車場の有料化)	財産管理課	〃
52	組織の見直し	行政改革室	H16年度
53	-1 未収金対策の強化	財政課	〃
	-2 〃 (市税)	納税課	〃
	-3 〃 (国民健康保険税)	国保年金課	〃
54	補助金の見直し	財政課	H17年度
55	外部委託(アウトソーシング)内容の見直し		H16年度
	-1 (幼稚園業務員委託の見直し)	教育総務課	〃
	-2 (小中学校巡回業務委託の見直し)	〃	〃
56	秦野市観光協会の見直し	観光課	H17年度
57	中小企業振興公社の見直し	商工課	H18年度
58	財産区の見直し	森林づくり課	〃
59	表彰制度の見直し	秘書室	H16年度
60	交際費の見直し	〃	〃

項 目		担当課	改革(予定)年度
61	ホームページへの企業広告掲載	広報広聴室 情報システム課	H17年度
62	入札制度の見直し	契約検査課	H18年度
63	公用車管理方式の見直し	財産管理課	H17年度
64	退職者報償の見直し	職員課	H16年度
65	職員表彰制度の見直し	〃	〃
66	交通災害見舞金制度の廃止	道路安全課	〃
67	ふれあい運動会の見直し	高齢福祉課	H17年度
68	障害児者慰安激励会の廃止	障害福祉課	H16年度
69	ひまわり作業所の見直し	〃	H17年度
70	家族介護慰労事業見舞金の廃止	高齢福祉課	H16年度
71	寝たきり高齢者訪問理美容助成の廃止	〃	H17年度
72	高齢者等紙おむつ給付事業の見直し	〃	H16年度
73	高齢者スポーツ広場設置助成事業の廃止	〃	H17年度
74	敬老会の見直し	〃	〃
75	敬老祝金品贈呈事業の見直し	〃	H16年度
76	親と子のつどい事業の廃止	児童福祉課	〃
77	生ごみ処理機購入費補助金交付事業の見直し	環境衛生課	〃
78	剪定枝資源化推進事業の見直し	〃	H17年度
79	消費者健全化推進員の廃止	市民課	〃
80	伝統工芸育成事業の見直し	商工課	〃
81	中小企業振興・特別資金預託金制度の見直し	〃	〃
82	木造住宅耐震診断事業の廃止	建築指導課	H16年度
83	私立幼稚園助成制度の見直し	学校教育課	H20年度
84	中学校選択制の導入	〃	H18年度
85	市民体育祭の見直し	スポーツ課	〃
86	スポーツ指導者育成事業の見直し	〃	H16年度
87	文化会館施設管理業務の見直し	文化会館	H19年度
88	水道料金納付書送付方法の見直し	水道業務課	〃
89	健康家庭及び健康老人表彰制度の廃止	国保年金課	H16年度
90	介護保険パンフレットへの広告掲載	介護保険課	〃

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	健康福祉部高齢福祉課
改革(予定)年度	平成18年度
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革										
個別改革 項目名	指定管理者制度の導入 【広畑ふれあいプラザ】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年度に、広畑ふれあいプラザに指定管理者制度を導入する。 平成15年9月2日に施行された地方自治法の一部改正により、これまでの「管理委託制度」に代わって「指定管理者制度」が法定化された。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16 プラザ管理運営検討委員会 で委託化検討		H17 指定管理者募集・選定 → 地元説明		H18 委託開始 ← 協定書締結		H19 指定管理者の管理監督 ← 事業報告書受理・審査		H20		
変更後			(変更後)		運営委員会 ← 調査・検討						
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年7月...秦野市広畑ふれあいプラザ運営委員会の下部組織としてプラザ管理運営検討委員会を設置した。 平成16年9月～17年2月...プラザ管理運営検討委員会は、5回にわたり委員会を開催し検討した結果、委託によっても利用者へのサービス向上を図ることが可能であるとの結論となった。 平成17年3月...プラザ管理運営検討委員会は、前記の結論を秦野市広畑ふれあいプラザ運営委員会に報告した。 平成17年7月...秦野市広畑ふれあいプラザ運営委員会は、プラザの管理運営方法について検討した。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>〔取組み〕</p> <p>・4月～3月...指定管理者制度導入施設の調査・検討</p> <p>・8月...プラザ運営委員会の下に、管理運営検討委員会を設置</p> </div> <div> <p>・9月～2月...管理運営検討委員会はプラザの管理運営の在り方について検討を行う。</p> <p>・3月...プラザ運営委員会開催</p> </div> </div> <p>〔目指す効果〕 他市の類似施設や指定管理者制度を導入した施設の管理運営状況について調査、検討をし、利用者にとって利便性があり、サービスの向上する管理運営方法を検討する。</p>										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				調査・検討							
		プラザ運営委員会開催				管理運営検討委員会開催				プラザ運営委員会開催	
				第1回		第2回		第3回		第4回	
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《制度移行》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《制度移行》	その他の効果 《 》			
	H16	-			H16	-	-				
	H17	-			H17	-	-				
	H18	0	指定管理者に移行		H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
	累計	0	H18指定管理者に移行		累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	指定管理者による管理運営の検証がまだ十分にされていないため、他市の類似施設や指定管理者制度を導入した施設の管理運営状況について調査、検討を行うとともにプラザ運営委員会(管理運営検討委員会)と協議しています。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	現在、管理運営検討委員会が設置され、検討が進められているが、地元や利用者との意向を十分踏まえ、指定管理者による管理運営の検証及び他市の類似施設等についての調査を速やかに行うとともに、今後の目標及びスケジュールを明記するよう努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		指定管理者制度の導入に関し、地元関係者等から「不安を感じる」という印象をもたれているので、市のバックアップ体制の確立と利用者の意見反映を進め、制度導入のメリットを含め方向性を関係者に詳しく説明すること。こうした積極的な地元対応により早急に地元の不安を解消すること。 また、これまでの検討(地元との意見交換)を踏まえ、担当課の考え方を早急に計画(案)にまとめ、制度導入までの時期を明らかにすること。 なお、スケジュール的に遅れているので、進行を強化すること。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部スポーツ課
改革着手年度	平成18年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革										
個別改革 項目名	指定管理者制度の導入【総合体育館、中央運動公園、中央こども公園、おおね公園、立野緑地庭球場、サンライフ鶴巻】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	現在、総合体育館等のスポーツ施設は、改正前の地方自治法の規定に基づき施設の管理を公益の法人に委託しているが、引き続き民間の有するノウハウを施設の管理運営に活用するため、指定管理者制度を導入します。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16 ・各施設における管理運営方法の検討 ・各市の導入状況調査		H17 ・関連条例の作成及び議会提案(9月) ・選定委員会の開催 ・指定管理者の決定		H18 ・指定管理者制度の導入		H19		H20		
条例等の上程時期			9月・12月								
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・各施設における管理運営方法の検討 ・県下各市の導入状況調査 ・関連条例、規則の改正 ・指定管理者選定委員会の開催 ・市議会での指定管理者の議決 ・指定管理者の指定 ・指定管理者との基本協定及び実施協定の締結										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 ・指定管理者導入(4月)、指定管理者に対し、指導・監督を行う。 【目指す効果】平成18年4月より指定管理者制度導入し、効率的なスポーツ施設の管理を行う。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←		・指定管理者によるスポーツ施設の管理 ・事業内容の提出(月報・四半期総括書) ・指定管理者に対し指導、監督 →									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果	その他の効果	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果	その他の効果			
			《指定管理者制度移行》	《 》			《指定管理者制度移行》	《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	19,332	指定管理者に移行		H18						
	H19	19,332			H19						
H20	19,332			H20							
累計	0	H18指定管理者に移行		累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	①計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	平成18年4月より指定管理者を導入した。今後は、さらなるスポーツ施設の効率的な運営に努めるとともに、指定管理者に対し、施設の管理運営について、指導・監督をしていきたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	①計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり、指定管理者制度への移行が実施されたが、今後は市民意識の把握をしながら改革の効果を検証するとともに、これをもとに、指定管理者に対する適切な指導・監督に努め、さらなる市民サービスの向上及び効率的運営に努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後は市民意識の把握をしながら改革の効果を検証するとともに、これをもとに、指定管理者に対する適切な指導・監督に努め、さらなる市民サービスの向上及び効率的運営に努められたい。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input type="checkbox"/> 進行強化										
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部財産管理課
改革(予定)年度	平成17年度
改革の状況	A 全部実施 (B) 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革										
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【電話交換業務】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	電話交換業務の委託化を行い人件費の削減を図る。 正規職員の退職時期を捉えて委託化を行う。平成17年度交換機の改修工事にあわせてダイヤルイン方式の導入を図る。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	←→ 委託体制の検討 及び教育		← 1名委託 →		← 1名委託 → (合計2名委託)		←→		← 1名委託 → (合計3名委託)		
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	正規職員3名のうち1名の委託化を実施するとともに、電話交換機交換工事に当たり、ダイヤルイン方式に対応可能な機種を選定										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	[取組み] 正規職員3名のうち2名の委託化を実施し、常時、2名又は3名体制を維持 4月5日からダイヤルイン方式を導入 [目指す効果] 人件費の節減										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←				2名委託						→	
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	2,920			H17	3,259					
	H18	5,600			H18						
	H19	5,270			H19						
	H20	8,190			H20						
	累計	21,980			累計	3,259					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり、職員の退職に合わせ委託することが出来た。今後も計画どおり進めていきたい。また、ダイヤルイン方式を導入することにより、市民サービスの向上を図ることができた。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も引き続き改革効果の検証を行うとともに、改革が計画どおり実行できるよう進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後は改革効果の検証を行うとともに、全部委託に向けスケジュールどおりに進められたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

【別紙】

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部財産管理課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革											
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【自動車運転業務】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	運転業務は、人件費のみでなく、公用車両の維持管理費も必要であることから、業務の効率化、経費の節減を図るため、平成17年度から専門職員が運転する公用車を順次廃車する。その代替策として、タクシー等の民間活力を活用し、平成19年度から非常勤職員での運転業務を廃止する。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16 ←(非常勤職員3名から2名)→		H17 ←非常勤職員2名から1名 廃車2台→		H18 ←非常勤職員1名 廃車1台→		H19 ←非常勤職員での運転 業務廃止→		H20 ←→ 予算編成 バスの購入費及び運 行委託経費			
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	非常勤職員3名から1名に変更(当初比・対前年比1名減) 運転手付公用車の廃車2台											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] バスの運行委託を実施(当初計画外・正規職員1名減) 借上車(タクシー)の利用に関する基準の作成 [目指す効果] 経費を含めた民間活力の導入											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
				バス運行委託								
				借上車の利用基準作成								
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16	0	(3名から2名)		H16							
	H17	2,806	2名から1名		H17	3,050						
	H18	2,585			H18							
	H19	3,318	廃止		H19							
	H20	3,318			H20							
	累計	12,027			累計	3,050						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	非常勤職員及び廃車については、計画どおり進んでいる。また、バス運行委託を新たに実施。今後も引き続き計画に基づき事務を進めていく。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も引き続き改革効果の検証を行うとともに、改革が計画どおり実行できるよう進められたい。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後は改革効果の検証を行うとともに、残りの計画が実行できるようスケジュールどおりに進められたい。										
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	健康福祉部児童福祉課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革				改革の状況		A B C D		全部実施 一部実施 実施準備中 検討中		
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【保育園給食調理業務】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	安全性の確保や衛生管理に充分配慮した上で、平成17年度に1園、平成20年度に1園、平成21年度以降に残る3園を順次委託する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	保護者説明会 債務負担行為 業者選定・契約		委託開始 指導・監督・評価 検証組織設置		指導・監督・評価		保護者説明会 債務負担行為 業者選定・契約		委託開始 指導・監督・評価		
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成17年4月...委託開始 平成17年12月...保護者、保育園長、栄養士等で組織した給食調理業務評価委員会を開催し、給食の質の維持、安全・衛生管理体制、食育への取組み等について、評価・検証を行い、概ね良好に行われていると認められた。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	<div>【取組み】</div> <div>4月～3月...委託業務の指導・監督・評価</div> <div>1月...評価委員会の開催</div> <div>【目指す効果】</div> <div>給食の質の維持・向上を図り、安全でおいしい給食を提供する。</div> <div>委託業務の安全かつ安定的な推進を図る。</div>										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		指導・監督・評価						評価委員会の開催			
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《委託園数》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《委託園数》	その他の効果 《 》			
	H16	-	-		H16	-	-				
	H17	1,246	1		H17	2,611	1				
	H18	1,246	1		H18						
	H19	1,246	1		H19						
	H20	7,141	2		H20						
	累計	10,879	H20までに 2園を委託		累計	2,611					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成17年4月から、渋沢保育園の給食調理業務を委託した。 現在の委託業務を評価・検証しながら、平成20年度の2園目の委託に向けて、事務を進めていく。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も引き続き改革効果の検証を行うとともに、安全・衛生管理の徹底に努めながら、改革が計画どおり実行できるよう進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後は改革効果の検証を行うとともに、2園目の委託に向けスケジュールどおりに進められたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	建設部道路安全課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革	改革の状況	A 全部実施								
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【道路維持補修業務】		B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中								
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	生活道路の安全を図り、市民の安心した通行を確保するためには、危険箇所の早期発見と迅速な対応が必要である。しかしながら市道延長の長さから現体制で道路瑕疵ゼロを目指すことは非常に困難である。このため、早期に補修業務の全地区委託を実施する一方で、道路パトロール体制の強化を図る。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20						
条例等の上程時期	委託契約の検討・準備										
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年度 ・処置方法の一定のパターン化を図るため、補修に関するマニュアル等を作成する。 ・単価契約の準備。 ・各地区の工事委託業者の選考準備										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	[取組み] 平成18年度は市内全地区を11月1日から全面委託していく。 [見送り] [目指す効果]民間委託にすることにより、緊急的な維持補修作業の迅速な対応、市道損傷箇所の早期発見体制の強化、現有職員の効果的配置(活用)を図り、通行の安全確保の徹底を図る。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委託契約の準備・発注								(変更後の予定)			
						市内全地区を委託					
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《民間委託移行》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《民間委託移行》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	4,520	一部民間委託に移行		H17						
	H18	3,360	民間委託に移行		H18						
	H19	3,360			H19						
	H20	3,360			H20						
	累計	14,600	H18民間委託に移行		累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	道路維持補修業務委託は、9月の指名選考委員会で工事委託業者の指名選考をし10月に入札を行い委託契約締結後11月1日より市内全地区を委託開始する予定であったが、全庁的に契約の公正さを確保し、信頼回復に取り組むこととなり、契約行為を見送らざるを得ない案件の一つとなっている状況である。 今後は、状況に応じた対応がとれるよう、準備・検討を行っていく。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	自己評価の状況の中、道路維持補修業務委託がさらに遅れることはやむを得ない。しかし、この「待ち」の状況を無駄にすることなく、更なる費用対効果の検討を余念なく行い、状況に応じた対応が可能となるよう図られたい。 なお、現有職員の取扱い及び費用対効果を勘案の上、もう1度改革内容							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		不測の事態に遭遇したことが遅れにつながっているということであるが、改革に遅延は許されないことであり、早急に対策を講じること。 特に、現有職員(現業職)の今後の担当業務について、配置換えなどを含めた対応策を早急に確定すること。									
<input type="checkbox"/> 現状推進(評価なし)											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部学校教育課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革											
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【小学校給食調理業務委託】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年度に2校を委託しその結果を検証するとともに、現行の直営方式の見直しと併せて、平成19年度以降の実施計画を別途策定する。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20				
		業者選考、入札 委託開始		入札 委託開始 実施計画の策定		業者選考、入札 委託開始		入札 委託開始				
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年...市内8会場で行革市政懇談会を開催、13校のPTA役員に説明、本町小学校、堀川小学校の2校の委託について内定 平成17年2月...本町小学校、堀川小学校で保護者説明会を開催、委託化決定 平成17年9月...本町小学校、堀川小学校で委託開始 平成17年12月...検証に着手 平成18年5月...大根小PTA役員に9月からの委託化を説明											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	<div>【取組み】</div> <div>6月...引き続き調理業務検討委員会で検証を進める。</div> <div>7月...大根小委託の入札、契約</div> <div>7、8月...大根小委託事業者と業務調整、準備</div> <div>9月...大根小委託業務開始</div> <div>12月...実施計画の策定</div> <div>【目指す効果】</div> <div>適格な事業者を選考して委託し、業務の質を維持向上させながら行財政の効率化を図る。</div>											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
業務の検証(調理業務検討委員会)								実施計画の策定				
		入札、契約		業務開始								
		業務調整、準備										
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17	2,668			H17	8,131						
	H18	798			H18							
	H19	798			H19							
	H20	798			H20							
	累計	5,062			累計	8,131						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	昨年9月から業務を開始。 調理業務検討委員会の「中間報告書」に基づき委託校を1校追加。9月業務開始。 同委員会が「最終報告書」の策定に向け作業中。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が積極的に実行されている。今後も引き続き改革効果の検証を行い、安全・衛生管理の指導の徹底に努めながら、改革が計画どおり実行できるよう図られたい。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も引き続き改革効果の検証を行うとともに、改革が計画どおり実行できるよう進められたい。										
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

		作成(修正)日		平成18年10月1日							
		所管部課		環境農政部清掃事業所							
		改革(予定)年度		平成18年度							
基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革		改革の状況	A	全部実施						
個別改革 項目名	業務の民間委託 【ごみ収集業務】			B C D	一部実施 実施準備中 検討中						
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年度中に月・木コースについては上地区・西地区の一部、火・金コースについては大根・鶴巻地区の一部を民間委託することとし、残りの直営収集区域については収集コースを再編することとし、民間・直営と関連しながら効率的な収集を目指す。なお、委託開始と同時に臨時職員は任用せず、原則2人乗車とする。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18						
	職員労働組合との交渉(変更後)		協定書締結(変更後)		委託開始(変更後)						
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年9月15日 2人乗車体制への移行及び委託化について、組合側へ説明 平成16年10月21日 説明時の質問に回答(危険な収集場所の解消、2人乗車体制による経費削減額、有給休暇の消化等) 平成16年11月17日 "(平成10年から平成16年10月までの可燃ごみ収集量を基に説明) 平成17年2月9日 "(平成17年12・1月の曜日別、収集区別の運搬回数、収集量について説明、収集区域拡大の説明) 平成17年2月24日 収集区域を現状の12区域から15区域への変更案を示す。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	【取組み】 秋までに委託契約を締結し、その後速やかに委託化を開始する。 【目指す効果】 民間の効果的な活用を図る。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
← 秦野市職員労働組合との交渉											
委託区域の決定		委託業者による試験収集 委託開始 委託契約締結									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	11,170			H17	0					
	H18	23,550			H18						
	H19	23,550			H19						
	H20	30,470			H20						
	累計	88,740			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	委託方法の検討に時間を要したため、当初の6月からの委託ができず12月から実施する予定で進めていたが、全庁的に契約の公正さを確保し、信頼回復に取り組むこととなり、契約行為を見送らざるを得ない案件の一つとなっている状況である。 今後は、状況に応じた対応がとれるよう、引き続き準備・検討を行っていく。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	自己評価の状況の中、清掃業務委託がさらに遅れることはやむを得ない。しかし、この「待ち」の状況を無駄にすることなく、更なる効果性・効率性・経済性・安全性の検討、改革の実現に向けた取組みを余念なく行い、状況に応じた対応が可能になるよう図られたい。							
B 概ね計画どおり		<input type="checkbox"/> 現状推進									
C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		不測の事態に遭遇したことが遅れにつながっているということであるが、改革に遅延は許されないことであり、早急に対策を講じること。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進(評価なし)										
	<input type="checkbox"/> 進行強化										
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	水道局水道施設課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革					改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中					
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【水道管管路管理業務】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年度に、水道本管等の水道施設及び量水器までの給水管の維持補修作業を民間委託化する。 平成17年度改革着手、平成20年度に技能員の配置換えを終了する。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20							
	← 実行計画作成 関係団体交渉	技能員1名 配置換え ←	技能員1名 職務換え 受け入れ 態勢確認 →	技能員2名 現場作業無し 技能員1名 班内職務換え	技能員2名 班内職務換え							
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年6月 委託先候補の「秦野市管工事業協同組合」と受け入れについて協議 平成16年7月 実行計画案作成 平成17年2月 委託先候補に意見事情聴取 平成17年2月 他市実例調査(小田原市) 平成17年6月～17年12月委託先候補の「秦野市管工事業協同組合」と受け入れ態勢について協議 平成18年2月 体制が整わないため、平成18年度中途から委託化できるよう再協議											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	<div> <div>【取組み】</div> <div>4月…技能員1名配置換え</div> <div>4月～9月…委託候補先と体制について調整</div> <div>10月…契約 (見送り)</div> </div> <div> <div>【目指す効果】</div> <div>民間活力を利用した市民サービスの向上(経済効果含む)</div> </div>											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
←	技能員1名配置 換え	委託への準備				契約	→	11月1日委託化開始予定 現場対応検証 (見送り)			→	
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17				H17							
	H18	7,594			H18							
	H19	10,294			H19							
	H20	25,301			H20							
	累計	43,189			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	委託候補先と業務受入れ体制、事前準備等について、検討を加えた結果調整が整ったので、昼間について平成18年11月から委託開始する予定(夜間については発生件数が少ないこと等から費用対効果がないことが判明したので現存する職員で対応する予定)で進めていたが、全庁的に契約の公正さを確保し、信頼回復に取り組むこととなり、契約行為を見送らざるを得ない案件の一つとなっている状況である。 今後は、状況に応じた対応がとれるよう、引き続き準備・検討を行っていく。	自己評価の状況の中、水道管管路管理業務委託がさらに遅れることはやむを得ない。しかし、この「待ち」の状況が無駄にすることなく、更なる効果性・効率性・経済性の検討を余念なく行い、状況に応じた対応が可能になるよう図られたい。 なお、現有職員の取扱い及び費用対効果を勘案の上、もう1度改革内容を見直す必要がある。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	自己評価の状況の中、水道管管路管理業務委託がさらに遅れることはやむを得ない。しかし、この「待ち」の状況が無駄にすることなく、更なる効果性・効率性・経済性の検討を余念なく行い、状況に応じた対応が可能になるよう図られたい。 なお、現有職員の取扱い及び費用対効果を勘案の上、もう1度改革内容を見直す必要がある。	自己評価の状況の中、水道管管路管理業務委託がさらに遅れることはやむを得ない。しかし、この「待ち」の状況が無駄にすることなく、更なる効果性・効率性・経済性の検討を余念なく行い、状況に応じた対応が可能になるよう図られたい。 なお、現有職員の取扱い及び費用対効果を勘案の上、もう1度改革内容を見直す必要がある。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		不測の事態に遭遇したことが遅れにつながっているということであるが、改革に遅延は許されないことであり、早急に対策を講じること。 特に、現有職員(現業職)の今後の担当業務について、配置換えなどを含めた対応策を早急に確定すること。										
<input type="checkbox"/> 現状推進(評価なし)												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部教育総務課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革		改革の状況		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">A B C D</div> <div> 全部実施 一部実施 実施準備中 検討中 </div> </div>						
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【学校業務員業務】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	正規学校業務員の退職後、順次委託化します。平成18年度に2校を委託化し、平成20年度までに全部で4校を委託化します。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20						
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">部内にて委託化検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">労働組合と交渉</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">委託化開始</div> </div>										
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年4月～7月 部内において委託化の在り方・方法について検討 平成16年8月1日 行革実行計画素案にて業務員委託化公表 平成16年8月6・10 学校業務員に業務員委託化計画について説明 平成16年9月21日 労働組合と交渉 平成17年4月 はだの行革推進プラン策定 平成17年6月～12月 職員労働組合と交渉・委託化、再任用について研究・調整 平成17年12月 新年度予算要求 平成18年1月 再任用希望職員意向調査 平成18年3月 委託化のための事務手続き、再任用職員の決定										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 平成18年4月 入札により委託先を決定 平成18年5月 西中、大根中の委託化実施 平成18年10月 再任用職員に意向確認 【目指す効果】 委託により、民間活力の導入と財政的効果(経費の削減)を期待する。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div>← 2校の委託化を実施</div> <div>← 再任用職員意向確認</div> <div>← 新年度予算要求</div> <div>← 委託化事務手続き</div> </div>											
改革の 効果	目 標			実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17	0					
	H18	8,300			H18						
	H19	7,272			H19						
	H20	11,422			H20						
累計	26,994			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成18年5月から2校の委託化を実施したが、今後もプランに沿って、順次委託化を推進していきたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	概ね計画に沿って委託化に着手できたが、今後は、学校と密に連絡を図りながら状況を把握するとともに、適切な業者の指導、監督、費用対効果の検討を行いながら、プランに沿ったさらなる委託化を進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が着手されている。今後は改革の効果を検証するとともに、更なる委託実施に向け、スケジュールに沿って進められたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部図書館
改革(予定)年度	18年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革						改革の状況	(A) B C D	全部実施 一部実施 実施準備中 検討中		
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【図書館受付等業務】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成 1 8 年度実施予定 図書館業務のうち図書の返却、貸出等の窓口業務を委託するもの (変更後：平成 1 8 年 1 0 月実施予定)										
改革全体の 流れ(変更後)	H16		H17		H18		H19		H20		
	図書館協議会諮問		図書館協議会答申		18年度実施 (18年10月実施)						
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	<p>平成16年11月 図書館協議会で「窓口業務の委託について」議題とした。</p> <p>平成17年3月 「窓口業務に限定した委託の可否について」諮問した。</p> <p>平成17年6月～8月 1 職員個別ヒアリング 2 図書館業務内容及び勤務体制の把握 3 窓口業務29項目一覧表の作成 4 窓口業務委託に対する職員の意見徴収。</p> <p>平成17年9月 第1回図書館協議会において窓口業務委託化について協議。9月いっぱいを目途に委員から意見を求める。</p> <p>平成17年10月 職員及び協議会委員代表による合同プロジェクトの立ち上げ。館内会議及び職員プロジェクト2回(図書館業務42項目内容の検討について)</p> <p>平成17年11月 第2回図書館協議会において「窓口業務に限っての民間への委託化は、時期尚早で図書館業務全体を精査した中に民間委託が可能であると判断されたものについては、委託化を図るべきである。」と答申される。合同プロジェクト1回(図書館業務内容のチェック)、職員プロジェクト2回(図書館業務内容のチェック、検討)。</p> <p>平成17年12月 合同プロジェクト1回(図書館の理念・構想について) 職員プロジェクト2回(図書館の理念・構想について、図書館業務56項目の内容及び検討)</p> <p>平成18年1月 合同プロジェクト1回(図書館の理念・構想について) 職員プロジェクト2回(委託項目の検討)</p> <p>平成18年2月 合同プロジェクト1回(委託項目の検討) 職員プロジェクト1回(基本方針、委託項目の検討)</p> <p>平成18年3月 職員プロジェクト1回(委託項目の選定) 第3回 図書館協議会(委託項目に対する意見聴取)</p>										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	<p>【取組み】</p> <p>平成18年4月～5月 職員プロジェクト 委託業務の検証の取りまとめ</p> <p>平成18年6月 図書館協議会に委託業務を報告</p> <p>平成18年7月 社会教育委員会及び教育委員会に付議</p> <p>平成18年10月 窓口業務等(施設の案内、図書や雑誌等の返却・貸出の業務、カードの登録作成、返却図書や雑誌等の整理・保管、配架)の委託化開始</p> <p>【目指す効果】</p> <p>市民サービスの向上につながるような委託化を推進していく。</p>										
6	7	8	9	10	11	12					
・図書館協議会に委託業務について報告	・社会教育委員会に付議 ・教育委員会に付議	・部長会に委託業務実施について報告		・窓口業務委託化開始							

	目 標				実 績			
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》
改革の 効果	H 16	#REF!			H 16	#REF!		
	H 17	#REF!			H 17	#REF!		
	H 18	#REF!			H 18	897		
	H 19	#REF!			H 19			
	H 20	#REF!			H 20			
	累計	#REF!			累計	#REF!		
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見				
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	窓口業務に限らず業務全般を視野に入れた中で、図書館協議会委員の代表と図書館職員のプロジェクチームによる検討を重ね、委託可能な業務の選定と検証を行い、図書館協議会の意見等を踏まえ、本年10月から市民サービスの向上につながるような窓口業務等の委託を実施した。				
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進					
		<input checked="" type="radio"/> やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化					
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し					
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	当初の開始予定からは遅れたが、改革実施となった。今後は、改革効果を検証し、さらに効果的な委託のあり方を引き続き検討するとともに、市民サービスの向上につながるよう、委託管理者への指導及び連携を図りたい。				
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進					
		<input checked="" type="radio"/> やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化					
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し					
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見				
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		本年10月に委託が実施され、現在、試行段階のため効果はすぐに検証できないが、委託により市民サービスが低下することは許されない。今後、市民の意見等を参考とし、しっかりと効果を見極めるべきである。また、今後は指定管理者制度の導入も視野に入れて、図書館全体のあり方について検討すること。						
<input type="checkbox"/> 現状推進								
<input type="checkbox"/> 進行強化								
<input type="checkbox"/> 見直し								

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部財産管理課
改革(予定)年度	平成19年度

基本改革 項目名	民間委託推進による業務改革										改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中
個別改革 項目名	業務の民間委託化 【車両整備業務】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	整備工場の老朽化に伴い、新型車両への対応が難しくなっていること等を考慮し、車両の点検整備及び車検の継続検査に伴う車両整備業務並びに突発的な故障に対する修理業務を退職する職員の時期に合わせ、平成19年度から民間業者に完全委託する。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
					予算編成 委託費用 委託方法の検討 人事異動の検討		完全委託化					
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)												
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 委託方法及び人事異動の検討 [目指す効果] 経済的かつ効率的な行政運営を目指す											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		委託方法の検討										
						人事異動の検討						
改革の 効果	目 標					実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果 額	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17				H17							
	H18				H18							
	H19	8,732			H19							
	H20	8,732			H20							
	累計	17,464			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成19年度からの完全委託化に向け、残る職員の 配置換え等の準備については、予定通り進行してい る。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が実行できるよう、今後も、新体制 への移行に向けての具体的なスケジュールに基づき、 調整を図りながら進められたい。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		着実に改革が実行できるよう、委託先の選定方法等 も含め、具体的なスケジュールを定め進行を強化して 進められたい。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部スポーツ課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	施設使用制度改革					改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中				
個別改革 項目名	受益者負担制度の導入 【学校開放施設(学校体育館・格技室)】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	市内の公共有料スポーツ施設との公平性の観点から、現在、無料である学校体育開放施設の有料化を行う。特に、体育館及び格技室の使用料について、1時間当たりの照明に係る電気料金を利用料金(照明に掛かる実費負担分)とする。料金の徴収については、現行の規則(秦野市立学校教育施設の開放に関する規則)の運用により対応										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16 ・スポーツ関係団体からの意見聴取 ・審議会、学校関係者からの意見聴取	H17 ・使用料金の検討 ・規則の検討	H18	H19	H20						
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・スポーツ関係団体からの意見聴取 ・審議会、学校関係者からの意見聴取 ・使用料の算定										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] ・料金徴収方法の検討 ・運用基準の作成等、学校との調整及び利用団体への説明 [目指す効果] 受益者負担の確立										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
・料金の設定 ・料金徴収方法についての検討 ・規則の運用検討		←→						←→	・運用基準の作成 ・導入にあたり、学校と調整及び利用団体へ説明 ・常任委員会へ報告	→	
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《有料化》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《有料化》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	3,400	有料化実施		H18						
	H19	3,400			H19						
	H20	3,400			H20						
	累計	10,200			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	実施時期は18年10月1日を予定していたが、利用者団体等と調整する中で周知期間を要するため、平成19年4月1日とした。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	新しく設定した実施日までに、利用者に充分周知し理解を得るとともに、スムーズに料金徴収を開始できるよう、進行を強化されたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		内部評価にあるように、市民の理解を得られるよう十分、市民周知に努め、計画の内容を円滑に実現すること。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	児童福祉課・教育総務課
改革(予定)年度	平成16年度

基本改革 項目名	幼稚園・保育園改革					改革の状況		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;"> A B C D </div> <div> 全部実施 一部実施 実施準備中 検討中 </div> </div>			
個別改革 項目名	幼稚園・保育園の一体化										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	全ての就学前児童を総合的に育むという視点に立ち、幼児教育の充実、子育て家庭への支援を図る観点から、公立幼稚園の余裕教室を活用するとともに、公立保育園の保育環境を充実するため、平成19年度に幼稚園・保育園の一体的な利用を推進する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
	ひろはた幼・広畑保一体化(10月)		みどり・鈴張1人園長				一体化		ひろはた1人園長制		
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年10月ひろはた幼稚園と広畑保育園の一体的利用開始 平成17年4月みどり幼・鈴張保1人園長体制の開始 平成17年9～10月保護者説明会(未就園児を含む。)の開催										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> [取組み] 保護者説明会開催(幼未就園児保護者含む) 秦野市立幼稚園園則の一部改正(定員について) 次年度改修工事予算計上 補正予算計上 </div> <div> 幼稚園の財産処分(一部) 改修工事の実施(一部) </div> </div> [目指す効果] 平成19年度のすえひろ幼・本町保、つまきだい幼・鶴巻保一体化に向けて、準備を進める。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			保護者説明会開催		保護者説明会開催	秦野市立幼稚園園則の一部改正	新入園児募集	補正予算計上		財産処分(一部)	
						次年度予算計上				工事(一部)	
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《一体化園》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《一体化園》	その他の効果 《 》			
	H16	335,266	2		H16	338,736	2				
	H17	9,688	2		H17	11,566	2				
	H18	9,688	2		H18						
	H19	284,664	4		H19						
	H20	20,864	4		H20						
	累計	660,170	H19に2園を 一体化		累計	350,302					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成16年10月にひろはた幼稚園と広畑保育園を一体化した。 この経験と実績を活かし、平成19年度のすえひろ幼稚園と本町保育園及びつまきだい幼稚園と鶴巻保育園の一体化を円滑に実施する。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	現在、来年度に向けた一体化事務に取り掛かっているが、より先への視点を持ち、遺漏のないよう且つ円滑に実行されたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も改革が計画どおり実行できるよう進めるとともに、引き続き改革効果の検証を行われたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部教育総務課
改革(予定)年度	平成20年度
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	幼稚園・保育園改革										
個別改革 項目名	幼稚園と小学校の一体化										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	小学校の余裕教室を活用し、平成20年度に大根幼稚園と大根小学校、西幼稚園と西小学校をそれぞれ一体化する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17				H18		H19		H20	
		← 就学前教育と小学校との連携調査研究事業 →				← 改修工事 →				← 財産処分 →	
条例等の上程時期	9月(市立学校の設置に関する条例)										
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	先進事例の調査・研究(平成16年度) (視察:湯河原町、東京都江東区) 就学前教育と小学校の連携事業地域連絡会 ・第1回 平成17年5月31日、第2回 9月9日、第3回 平成18年1月10日 ・視察研修 8月1日(中央区有馬幼稚園・有馬小学校)、講演会 8月29日 ・その他に大根地区・西地区において毎月1回会議、交流会等を開催										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 就学前教育と小学校の連携に関する調査研究 事業(県指定 平成17年5月～19年3月) [目指す効果] ソフト、ハード面において、就学前教育と小学校の連携をどのようにしたら深めることができるか、先進事例も参考にしながら探っていく。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		就学前教育と小学校の連携に関する調査研究事業(県指定) 平成18年度まで									
		← 施設面における内部検討 →									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《一体化園》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18				H18						
	H19				H19						
	H20	23,036	2		H20						
	累計	23,036	2		累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	少人数学級の推進など、国の動向や児童数、園児数の推移を踏まえ、慎重に進めたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が実行できるよう、今後もスケジュールに沿って進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり改革が実行できるよう、今後もスケジュールに沿って進めること。 また、現状の研究成果・検討状況等を逐次公表するとともに、その検討成果を最大限に生かしながら、ソフト・ハードの両面において、さらに効果の高い改革に取り組むこと。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	企画部行政改革室
改革(予定)年度	平成16年度
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	職員改革										
個別改革 項目名	職員数の見直し										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	これまでも、職員数の削減に努めてきたが、今後も民間委託の推進、組織・定数の見直し等により職員数の削減に努める必要があり、平成16年度から平成20年度までの間に100人削減する。										
改革全体の 流れ(当初計画)											
条例等の上程時期	職員定数条例改正										
前年度までの取組 (箇条書き)	○H16年度当初……対前年29人削減《内訳》行(1)20人、行(2)9人(事務の見直し、事業の進捗等) ○H17年度当初……対前年24人削減《内訳》行(1)14人、行(2)10人(委託化、事務の見直し等) ○H18年度当初……対前年20人削減《内訳》行(1)13人、行(2)7人(委託化、事務の見直し等)										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 ○6月～7月…各課等意向・状況照会 ○7月～8月…各課等とのヒアリング実施 ○9月～10月…第1次企画部案作成 ○11月…第2次ヒアリング ○2月…行財政改善推進委員会付議 【目指す効果】○委託化等への切り替えが確実に推進できるよう進行管理を実施する。 ○事業の進捗状況に応じたサンライズ・サンセットを適切に職員配置に反映する。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		各課等意向・状況照会			第1次企画部案作成				職員課等との調整		最終調整
			ヒアリング実施			第2次ヒアリング実施				行財政改善推進委員会付議	
								第2次企画部案作成			
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《削減数》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《削減数》	その他の効果 《 》			
	H16	199,105	29		H16	200,540	29				
	H17	291,634	24		H17	294,439	24				
	H18	291,634	19		H18		20				
	H19	291,634	13		H19						
	H20	291,634	15		H20						
	累計	1,365,641	100		累計	494,979					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	H16、H17は、実質的に完了或いは見込みに基づいた計画となっているため、実績も同じとなっているが、H18以降、新規事業や予定外のケースへの人材投入が必要となったことなどにより、調整が困難になってきており、内容は予定どおりではない。計画の実現を目指す一方で、市民サービスの低下を招かないよう慎重を期したい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後は困難が予想されることから、各部署と十分な調整を行いながら進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。自己評価にあるように、調整困難な状況下においても市民サービスの低下にならぬよう、今後も慎重に改革を進められたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部職員課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	職員改革											
個別改革 項目名	人事給与制度の見直し 【高齢層職員の昇給停止年齢の引下げ】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	現在58歳となっている昇給停止年齢を55歳に引き下げる。 (現状:17年8月の人事院勧告で、昇給停止ではなく、昇給幅の縮小、実績に基づく昇給へと見直されたことにより改革内容について再検討を行い、3月議会で見直し後の給与条例の一部改正を実施。)											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
			職員団体との協議		給与制度見直しの実施							
条例等の上程時期												
前年度 までの取組 (箇条書き)	平成17年の人事院勧告を受けて国家公務員の給与構造改革が実施され、55歳昇給停止が見直しされ、給料表の引き下げ及び細分化が実施され、55歳からの昇給抑制が制度化された。 本市においてもこれに合わせて実施したため、55歳昇給停止ではなく、昇給抑制に変更する給与条例の改正を実施した。 給与全体の引き下げを実施した結果、実質的には55歳昇給停止に加え、それ以下の年齢でも昇給停止になる職員がいることから、結果的には見込み以上の効果が実現できる。											
今年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	給与構造改革を実施済のため、適正な運用に努め、55歳昇給停止以上の効果が実現できる見込みである。 [目指す効果]給与構造の見直しによる人件費の節減(18年度11,038千円の削減)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
給与構造改革の実施												
改革の 効果	目 標					実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》
	H16				H16				H16			
	H17				H17				H17			
	H18	13,869			H18				H18			
	H19	13,397			H19				H19			
	H20	12,076			H20				H20			
	累計	39,342			累計	0			累計	0		
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	平成17年8月の人事院勧告の内容を受けて3月議会での給与の引下げ(行(1)平均 4.8%)及び号棒の4分割の給与条例改正を実施。これにより、昇給停止以上の効果が見込まれる。(55歳以上の昇給停止により、1,100万円の削減、職員全体では、8,300万円の削減)このため行革プランの内容を改め、改革終了と判断できる。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	給与構造改革により給料表の引き下げ、細分化並びに55歳昇給抑制が制度化されたことにより、当初の改革内容と手法は異なるが、効果としてはそれ以上の効果が見込まれることとなった。 したがって、内部評価として当該改革項目は「手法を変えて目標達成」(改革終了)として是認したい。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		地方公務員の給与制度は、国家公務員等との均衡が原則であることから、見直しはやむを得ない。プランに当初掲げられた方法とは異なるが、当初よりも効果的な方法で実施されたため、改革が終了したと認められる。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部職員課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	職員改革										改革の状況	<input checked="" type="radio"/> A 全部実施 <input type="radio"/> B 一部実施 <input type="radio"/> C 実施準備中 <input type="radio"/> D 検討中
個別改革 項目名	人事給与制度の見直し 【勤勉手当の適正化】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	人事評価の結果を勤勉手当に反映させる (平成17年12月期から完全実施する。)											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
	16年度から完全実施の予定										→	
条例等の上程時期												
前年度までの取組 (箇条書き)	平成15年度に新たな人事評価制度を導入し、15年12月期から試行として実施 平成16年度から本格実施を目指したが、秦野市職員労働組合の完全な理解が得られない ことから16年度の2回はいずれも試行とした。 平成17年度は、6月期は、6級職以上、12月は全職員を対象に本格実施した。											
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 人事評価の適正な運用のため研修、評価方法の見直しを検討											
	【目指す効果】 評価を通じて、職員の能力を高めるためのOJTの推進 職員の資質向上、組織力の強化											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
改革の 効果	目 標					実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17	0			H17	0						
	H18	0			H18	0						
	H19	0			H19	0						
	H20	0			H20	0						
	累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価に対する意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	17年6月期からの本格実施を目指していたが、職員団体との調整の結果6級職以上は、6月期から他は12月期から実施した。今後はより効果的な人材育成に結びつくよう、制度の充実を検討する。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。今後も自己評価にあるように、より効果的な人材育成に結びつくような制度として充実を図りたい。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し										
外部 評価	今後の進め方		評価の意見									
	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後も、より効果的な人材育成に結びつくような制度として充実を図りたい。									
	<input type="checkbox"/> 現状推進											
	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部職員課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	職員改革										
個別改革 項目名	旅費の見直し 【日当の廃止】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	出張に伴う日当について廃止する。 (平成18年度からの実施に向けて、18年3月議会で旅費に関する条例の改正を行う)										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
					日当の廃止						
条例等の上程時期			条例改正								
前年度 までの取組 (箇条書き)	検討項目の抽出 実施効果の検証 平成18年3月議会で旅費条例の改正を提案し、可決18年4月1日からの日当の廃止を実施した。										
今年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み]										
	[目指す効果] 経費の節減										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	10,000			H18						
	H19	10,000			H19						
	H20	10,000			H20						
	累計	30,000			累計						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	秦野市職員労働組合と協議を重ねてきて、一定の理解 を得られたので、平成18年度当初から実施した。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画に沿って、改革に着手できた。今後は、改革の効 果の把握に努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画に沿って、改革を実行されたことが認められる。 今後は、改革の効果の把握に努められたい。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input type="checkbox"/> 進行強化										
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	選挙管理委員会事務局
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革										改革の状況	(A) 全部実施 (B) 一部実施 (C) 実施準備中 (D) 検討中
個別改革 項目名	期日前投票所の増設											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	新たな期日前投票所を大根、西地区の2箇所に設置します。 開設期間は、投票日の6日前から前日までの土祝祭日を含む毎日午前9時から午後8時とします。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
	システム調査・研究 政策会議 予算要求		システム開発・研修 システム稼動 市長選挙対応 効果検証		システム稼動 法改正等により改修 各選挙対応							
条例等の上程時期												
前年度 までの取組 (箇条書き)	・期日前投票管理システムの調査・研究 ・重要事項付議事案書作成 ・18年1月の市長選挙から実施											
今年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 4～5月...システム仕様決定・施設管理者打合せ 7～11月...システム改修・テストランほか 12月...システム稼動・投票所準備 1月...期日前投票開始 2月～片付け・検証											
	[目指す効果] 期日前投票所の増設により両地区の選挙人に対する投票環境の改善を図る。											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
システム仕様決定	入札	システム改修・情報システム課・業者打合せ	システム課・業者打合せ	テストラン	システム最終調整	システム稼動 従事者選定 投票所準備	片付け 統計・効果検証	期日前投票所増設 期日前投票開始				
施設管理者打合せ LAN工事等												
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17	6,639			H17	2,615						
	H18	3,000			H18							
	H19	12,356			H19							
	H20	3,000			H20							
	累計	24,995			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	平成18年1月執行の市長選挙において期日前投票所の増設を行うことができた。今後の各選挙でも同様に実施していきたい。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。今後も市民サービスの向上に努められたい。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後も市民サービスの向上に努められたい。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部資産税課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	地図情報等のデジタル化推進 (固定資産評価用地図台帳)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年度固定資産評価替えに伴う資料作成において、従来の評価替えにおける紙を主体とした作業に替えて、統合型地理情報システムでの活用を目的とした供用空間基礎データとしての航空写真のデジタル画像の取得と、当該データを駆使した課税客体の異動判読調査を実施、また、評価替え用の地図台帳をデジタルデータとして整備する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>H16</p> <p>航空写真撮影</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H17</p> <p>課税客体異動判読調査</p> <p>地図台帳整備</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H18</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H19</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>H20</p> </div> </div>										
条例等の上程時期											
前年度までの取組 (箇条書き)	航空写真撮影デジタル画像取得(秦野市全域) ... 都市計画基本図(DM)作成用の供用データとして取得 課税客体異動判読調査の実施 地図台帳データ整備の整備										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 ----- 【目指す効果】										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《他課との関連》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《他課との関連》	その他の効果 《事務の効率》			
	H16	9,800	供用データ取得		H16	730	供用データ取得				
	H17	0			H17	13,730		情報の集約化			
	H18	-			H18	-					
	H19	-			H19	-					
	H20	-			H20	-					
	累計	9,800			累計	14,460					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A)計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	当初の計画に従い、市内での供用空間データとしてより活用度の高い画像の取得と、当該データを駆使した固定資産評価替えに伴う資料としての課税客体調査及び地図台帳の整備が効率よく実施または完了し、また、実現に向けた手法の精査による費用軽減の効果が計画より高いものとなった。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A)計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。今後は改革の効果を検証されたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後は引き続き改革の効果を検証されたい。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	都市経済部都市計画課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A 全部実施			
個別改革 項目名	情報通信技術の活用(地図情報のデジタル化推進【都市計画基本図】)							B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中			
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	都市計画基本図のデジタル化が進行していないのは県下でも6市を残すのみであり将来の電子自治体推進のため、平成17年度から取り組み18年度に完成させる。 その後は、このデジタル化された基本図を全庁的に利用、また、市民にもインターネット上で活用できる地理情報システムの構築をする。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
	GIS検討部会の開催(庁内関係各課の調整)										
条例等の上程時期	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">契約事務</div> <div style="margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">デジタル図化業務</div> <div style="margin: 0 10px;">←</div> </div>										
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成14年3月に秦野市情報化推進計画を策定した。 この計画において、庁内各課等から土地、河川、水路等の関係機関からなる「統合型GIS検討部会」として平成14年度において専門部会を設置した。 第6回線引き見直し及び都市計画基礎調査が平成19年度に予定がされていることから、17年度、18年度の2年間に渡って都市計画基本図をデジタル図化するための予算を計上した。 平成18年1月4日委託契約締結。19年3月までデジタル図化の業務を実施。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	【取組み】平成17年度に引き続きデジタル図化作成、都市計画データ作成、都市計画支援システムの導入、庁内配信システム導入を行う。 【目指す効果】地図の共有化など、庁内における業務の効率化 将来は、市民への地図情報の提供										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		デジタル図 化作成					都市計画支援システム				
			都市計画データ作成				庁内配信システム			成果品整理	
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16	-			H16	-					
	H17	-			H17	-					
	H18	-			H18						
	H19	-			H19						
	H20	-			H20						
	累計	0			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成18年度は、航空写真を基にした都市計画基本図のデジタル図化作成業務を進め、現時点ではデジタル図化は概ね終了しつつある。今後はデジタル図化作成と並行して都市計画の属性データの入力等を行い、18年度中には都市計画支援システム、庁内配信システムとして稼働させていきたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	早期に改革の内容が実現できるよう、スケジュールに則って進めるとともに、委託契約が履行された後、目指す効果が最大限発揮されるように努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり改革が実行できるよう、今後もスケジュールに沿って進めること。 また、実施の際は、利用について市民に十分PRすること。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	水道局水道施設課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革										改革の状況	① 全部実施 ② 一部実施 ③ 実施準備中 ④ 検討中		
個別改革 項目名	情報通信技術の活用(地図情報等のデジタル化推進【水道施設情報のデジタル化】)													
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年度水道管路管理システム購入 平成18年3月末を納期として、水道管路管理システムの構築を行い、管網図、給水台帳、工事竣工図のデジタル化を行う。 窓口対応としてタッチパネルを使用し、市民サービスの向上を図る。													
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20					
	内容 調査	予 算 見 学	発 注 、 契 約	シ ス テ ム 構 築 納 品	使 用 開 始			日 常 業 務 に 使 用 窓 口 サ ー ビ ス に 使 用						
条例等の上程時期														
前年度までの取組 (箇条書き)	平成16年6月 水道施設のデジタル化について調査 平成16年8月 同様のシステムのデモンストレーション見学 平成16年9月 システム内容について調査 平成17年度 システム構築完了													
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 5月～…水道局内で業務に使用 窓口で業者への閲覧に使用 【目指す効果】 市内LANを使用した閲覧による利便性の向上。 タッチパネルとプリンターによる窓口対応で市民サービスの向上を図る													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
システム 準備	市内LANを使用し水道局内で業務に使用、また、タッチパネルにより業者へ閲覧													
改革の 効果	目 標				実 績									
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》						
	H16				H16									
	H17	83,759			H17	47,799								
	H18	0			H18	0								
	H19	0			H19	0								
	H20	0			H20	0								
	累計	83,759			累計	47,799								
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見										
	自己 評価	① 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画通り平成17年度水道管路管理システム購入(平成18年3月末納品済み) 平成18年5月から水道管路管理システムを水道局内で業務に使用、管網図を窓口対応としてタッチパネルを使用し、閲覧に供して。導入済み。										
		② 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進											
		③ やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		④ 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し											
	内部 評価	① 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革内容が実用に供されている。今後は、改革効果の把握に努めるとともに、当該システムのさらなる充実を図り、市民サービスの向上に資すよう進められたい。										
		② 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進											
		③ やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		④ 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し											
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見										
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革内容が実施されている。今後は、改革効果を検証するとともに、さらなるシステムの充実及び市民サービスの向上に資すよう進められたい。												
<input type="checkbox"/> 現状推進														
<input type="checkbox"/> 進行強化														
		<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部文書法制課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革	改革の状況	A	全部実施
	個別改革 項目名		B	一部実施
	情報通信技術の活用【公文書管理システムの電子化推進】		C	実施準備中
			(D)	検討中

改革の内容	(変更前) 平成18年度に公文書管理システムを電子化することにより、事務処理の効率化を図ります。 (変更後) IT推進本部に検討の結果を報告し、現状認識を踏まえて平成20年度までのシステム化については先送りして平成21年度以降の検討事項とすることについて承認を得る。				
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20
	電子自治体等検討部会を中心に課題を調査研究 専門家のアドバイス 調査研究結果のまとめ 中間報告のまとめ IT推進本部に報告 システム稼働テスト システムの本格稼働				
(変更後)	電子自治体等検討部会を中心に課題を調査研究 報告のまとめ IT推進本部に報告				

条例等の上程時期	
----------	--

平成17年度までの取組(箇条書き)	平成16年9月～11月 公文書管理システムのデモによる比較検討を実施(3社) 平成17年9月 公文書管理システムのデモによる検討を実施(1社) 平成17年11月 電子自治体等検討部会において概要説明 平成18年1月 関係課(文書法制課、情報システム課、行政改革室)による意見交換
-------------------	--

平成18年度の取組(フロー)及び目指す効果	【取組み】 平成18年10月までに報告書をまとめる。 同年11月以降開催の IT推進本部に報告 【目指す効果】 IT推進本部に検討の結果を報告し、システム化を先送りして平成21年度以降の検討事項とすることについて承認を得る。
-----------------------	--

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←						→					
検討の結果の取りまとめ						IT推進本部に検討結果の報告					

改革の 効果	目 標				実 績			
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》
	H16				H16			
	H17				H17			
	H18	0			H18			
	H19	0			H19			
	H20	0			H20			
累計	0	0		累計	0			

評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	
行政の情報化におけるペーパーレス化に対する現状認識 ペーパーレス化そのものは、社会の各般にわたって進展しつつあるものの、電子メールが電話やファックス代わりとして機能する場合を除いて、行政と民間との電子申請・許可、あるいは行政間のL G W A N、これら認証を必要とする文書交換の場面でのペーパーレス化については、国・地方ともに「電子情報を原則とする行政運営を実現する」(「e-Japan重点計画」平成13年3月国のIT推進本部策定)という目標からは大幅に遅れている。				

評価	自己評価	B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進	<p>費用対効果に対する現状認識 年間1,000万円程度のシステムの維持費がかかるが、費用対効果は、直ちには算定できない。理論上は、これまでに発生した紙ベースでの永年保存文書のみが保存され続けることになるが、中・長期的展望としても、文書倉庫を削減し、そのスペースを他に転用できること、あるいは従来の方式で決裁に要した時間を節約できること等、その効果が維持費相当額と同等以上であるとの見通しを立てることができない。</p> <p>電子決裁の有効性に対する現状認識 文書管理システムの主要な機能は、行政内部の事務処理では、ペーパーレス化に伴う「電子決裁」にある。しかし、決裁の対象になるもののうち支出命令等財務の定型的な意思決定等を除いて、上司が立案の趣旨、目的等について説明を求め、起案者等の回答内容に基づいて意思決定（決裁）をする形態（いわゆる対面式）は、今後も存続させる必要がある（システムをすでに導入した相模原市では、市長・助役の決裁は、起案用紙により受けているとのこと。）。 以上の現状認識を踏まえると、電子市役所の実現を目標としながらも、平成20年度までのシステム化については、見送ることとし、平成21年度以降の検討事項としたい。 そこで、平成18年度については本市の情報化推進組織であるIT推進本部に關係課における検討結果を報告し、システム化の先送りについて承認を得る予定であったが、IT推進本部の次の開催は11月下旬となる見込みである。 本項目は総合計画に位置付けられているため、10月10日開催の次期基本計画案に係る市長査定において、上記趣旨を説明し、22年度まではその導入を見送り、検討の期間とすることで了承された。 よって、本プランにおいても、「平成20年度までのシステム化については、見送ることとし、平成21年度以降の検討事項としたい」という、關係課の意見は、IT推進本部に報告するまでもなく、了承されたと判断される。</p>
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化	
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
	内部評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	<p>現在、当初予定どおりに進めることができない環境であることは、自己評価のとおりと考えられる。 今後、大きな変化も見込まれないことから、当該改革項目を見送ることはやむを得ないと考える。 しかし、今後の環境の変化が見られた場合に対応できるよう、研究・情報収集は継続して行われたい。</p>
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進	
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化	
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
	外部評価	今後の進め方		評価の意見
		<input type="checkbox"/> 改革終了		<p>自己評価にあるように、投入するだけの効果が見出せないようなので、内部評価と同じく、当初予定を変更し、見送ることはやむを得ないと考える。しかし、今後の環境の変化に対応できるよう、調査・研究は継続的に取り組むこと。</p>
		<input type="checkbox"/> 現状推進		
		<input type="checkbox"/> 進行強化		
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(見送り)		

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	企画部情報システム課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A 全部実施			
個別改革 項目名	情報通信技術の活用【電子申請、届出等行政手続のオンライン化の推進】							B 一部実施			
改革の内容	本市を含め神奈川県及び県内の32市町村(政令市及び横須賀市を除く。)では、電子自治体を実現するため、「神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会」を平成16年9月に設立し、平成17年7月を目途に電子申請・届出システム等の稼働をし、これまでの書面による手続に加えて、順次インターネット等を利用した申請、届出等の行政手続を可能とする。					C 実施準備中					
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20						
	協議会の設 ・手続選定、様式の標準化 ・委託業者の選定	オンライン化条例等制定 ・申請・届出システム等の稼働 ・電子化手続の受付開始	共同運営データセンター運営 ・電子入札システム等の稼働 ・電子化手続を順次拡大								
条例等の上程時期											
前年度 までの取組 (箇条書き)	(1)神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会の立上げ(H16.9) (2)共同運営による電子化手続の選定等及び標準化様式の検討 (3)共同運営による電子申請・届出システムの仕様、委託業者の選定 (4)行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例(オンライン化条例)の制定 (5)H17.7に電子申請・届出を開始。H18.3現在、18手続を実施。										
今年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 (1)4月～6月電子入札開始、電子申請様式作成研修受講 (2)7～9月庁内照会、申請・届出手続の選定 (3)10～12月各課等との調整、新たな申請・届出システム等の稼働、新規サービス検討・選定 (4)1月以降 19年度の手続検討等 【目指す効果】(1)従来の書面による申請に加え、インターネットによる手続を実現し、市民への利便性の向上を図る。(2)セキュリティを考慮したシステム構築等を共同運営で行い業務の効率化や経費の合理化を図る。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
・様式作成研修の受講	・電子化手続を順次拡大 ・新規提供サービスの検討			・庁内照会 ・電子化画面	・申請・届出手続の選定、各課等との調整	・新たな申請・届出システム等の稼働			・19年度の手続検討等		
・電子入札開始	・IT推進本部開催 ・情報化推進委員会		・IT推進市民会議				・IT推進本部 ・IT推進市民会議				
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16	6,803			H16	4,555					
	H17	6,773			H17	6,336					
	H18	6,773			H18						
	H19	6,773			H19						
	H20	6,773			H20						
累計	33,895			累計	10,891						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	昨年度は、書面によって行われている申請や届出などの行政手続に加え、インターネット等を利用した手続を可能とするための所要の整備を行った。今年度は、市民の利便性を考慮した手続、及び新たなシステム等の構築を視点として共同運営協議会・庁内各課等と調整していく。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も市民ニーズを把握しながら行政サービスの向上を念頭に、インターネット等を利用した申請、届出等の行政手続が順次可能となるように努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も改革の効果を検証するとともに、順次インターネット等による申請、届出等の行政手続ができる範囲を拡大されたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	環境農政部防災課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										改革の状況	(A) 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中
個別改革 項目名	情報通信技術の活用【緊急情報提供システムの構築】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年度中に、防災・防犯等の緊急情報を携帯電話のメール機能を活用して配信するシステムを構築し、職員、自主防災会、防災関係機関を対象に運用を開始した。平成18年度は、機能の充実(受信情報選択)を図り一般市民にも緊急情報を配信する。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	6月:システム機能取りまとめ 8月:基本システム構築 11月:システム構築完了、試験運用・調整 12月:市職員、消防団、自主防災会等の登録後運用開始											
平成18年度 の取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 6月:受信情報選択機能等の付加委託 7月:付加機能運用開始 8月:全市民登録開始 [目指す効果] 受信情報選択機能等を付加し、システムの充実を図った後に全市民を対象に登録を開始し運用の拡大を図る。											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
付加機能検討												
改革の 効果	目 標		年度		改革効果額 (千円)		その他の効果 《 》		その他の効果 《 》		実 績	
	年度		H16		H16		H16		H16		H16	
	H17		4,000		市民生活の安心・安全の向上		H17		1,856		市民生活の安心・安全の向上	
	H18		3,600				H18					
	H19		3,600				H19					
	H20		3,600				H20					
	累計		14,800				累計					
評価	区分	取組内容 の評価		今後の 進め方		評価の意見						
	自己 評価	(A) 計画どおり		<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		初年度は市職員や自主防災会役員等の関係者を対象に計画どおり12月から運用を開始した。平成18年度はスケジュールに沿ってシステムの充実を図り、計画通り8月1日から全市民を対象にした運用を開始した。						
		B 概ね計画どおり		<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	(A) 計画どおり		<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり改革が実行できた。 今後も登録者の増加に向けてPRに努めるとともに、効果や市民ニーズを把握し、内容的にもより充実したものになるよう図られたい。						
		B 概ね計画どおり		<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化										
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し										
外部 評価	今後の進め方				評価の意見 システム構築が完了したことで終わりではなく、最終的には携帯電話保有者の完全登録を目指すべきである。目標をもって登録者数を増やすとともに、情報ツールを持っていない市民への伝達についても検討すること。							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了											
	<input type="checkbox"/> 現状推進											
	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部スポーツ課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(使用料の見直し【スポーツ施設使用料の見直し】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	・有料スポーツ施設における貸室等に係る経費を利用者負担の対象にし、その年度内における管理運営費を算定根拠に利用者の負担割合を考慮し使用料を算定										
改革全体の 流れ(当初計画)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> H16H17H18H19H20 </div> <div style="text-align: center;"> ← 使用料改定に向けた調査・研究 → ← 進め方等の調整 実施 → </div>										
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・年度内における管理運営費を算定根拠に利用者の負担割合を考慮し使用料(案)を算定 ・サンライフ鶴巻トレーニング室の使用料の改正(200円 250円)										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	・平成18年4月より指定管理者導入により管理運営費について検証を行い、使用料を算出する。 [目指す効果] 使用料設定の方針決定										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
← → ・前年度の各スポーツ施設における管理維持費の精査		← → ・現行のスポーツ施設における維持管理費の精査				← → ・使用料の積算		← → ・市内部調整 ・市議会説明		← → ・関係団体説明	
改革の 効果	目 標										
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容の評価	今後の進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成18年4月から指定管理者制度を導入したことに伴い、平成17年度決算及び18年度予算により使用料の算定をし、現行使用料と比較検討したうえで、適正な使用料を見極めたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成18年度の取組みは、検証を行うとなっているが、実施時期について明示がない。現在の状況、今後の進め方、実施予定時期をまとめて至急報告されたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		外部要因である制度の変更(指定管理者制度導入)や維持管理経費の見直しを踏まえて、今、考えられる料金見直しの方針(具体的な内容)を早急に担当課が示すべきである。 そうした中で見直しの必要がないならば現状の料金体系を継続するとし、一方で確定的な設定が難しいのであれば、再度料金見直しが必要であるとしてよいのではないかと。 改革への姿勢として、使用料の見直しが改革の本丸の一つであることを十分に認識し、「待ち」の気持ちではなく、現時点で可能な改革のシミュレーションを行うこと。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

【別紙】

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部 文化会館
改革(予定)年度	平成20年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A 全部実施			
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(使用料の見直し 【文化会館使用料の見直し】)							B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中			
改革の内容 (いつまでに・何を・ どうするのか)	平成20年度までに、文化会館使用料を見直す。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
		近隣文化施設のバラン スを考慮し、調査・研究 する。		施設の耐震診断等を着 手予定 文化会館運営委員会等 で協議する		施設のリニューアルを含 め、耐震工事を実施予 定。関係条例の整備。		実施			
条例等の上程時期					第3回定例会						
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・各設備については、老朽化のため総合計画に基づき順次更新している。 ・今後も維持管理費の増加が見込まれるため、特定財源の使用料の改定について検討する。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効 果	【取組み】 プランの基本的な姿勢に基づいた料金の見直し作業は進めており、今後も、近隣文化施設の使用 料とのバランスなどを考慮しながら調査・研究する。 利用者の安全対策が急務であり、今後、施設の改修等を検討せざるを得ない状況など、時期につい ては政策的な要素があるので慎重を期したい。										
	【目指す効果】 特定財源の確保(使用料を20%程度上げる)										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←		使用料見直しについて調査・研究						運営委員 会で協議		運営委員 会で協議	
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18				H18						
	H19				H19						
	H20	0			H20						
	累計	0			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	プランどおりに実施できるよう、使用料見直しについては作業を進め ているが、さらに、近隣文化施設の使用料とのバランス、スケジュール 設定などの検討を加えていくとともに、各方面の意見を聴き、状況を見 ながら実施に向けて取り組む。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	使用料の改定が、長期据え置きとなっている状況から、改定に向けた 着実な取組みが必要であり、まずは、計画どおり使用料の改定ができる よう、早急に具体的なスケジュールを定め、進められたい。 なお、見直しの取組み状況について報告されたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		これまで改革遅延の要因とされてきた施設の耐震性について、安全性が証明さ れた現在、改革取組みへの懸念はなくなったと考えられる。 このため、使用料の改定が長期据え置きとなっている状況を鑑み、改定に向 けた着実な取組みが必要である。今後は、計画どおり使用料の改定ができるよう、 早急に具体的なスケジュールを定め進めると。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部文書法制課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(手数料の見直し【情報公開手数料の見直し】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年度から情報公開手数料の完全無料化を実施する。 (平成9年7月から、市民等については手数料を無料としている。)										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	行政情報・個人情報審査会の意見徴収		検察庁への協議 政策会議		無料化実施						
条例等の上程時期			9月								
前年度までの取組 (箇条書き)	平成16年12月から平成17年3月まで5回にわたり、他の改正点とともに、完全無料化について「行政情報・個人情報審査会」から意見徴収を実施した。										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	[取組み] 4月～5月 審査会の意見聴取 6月～7月 検察庁への協議 7月 政策会議 9月 条例改正案上程										
	[目指す効果] 本年度9月議会に条例改正案を上程し、無料化を実施する。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行政情報・個人情報審査会の意見聴取		検察庁への協議		条例改正案を議会に上程						手数料無料化の実施	
		政策会議									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《請求件数》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《請求件数》	その他の効果 《 》			
	H16		702		H16		702				
	H17		750		H17		772				
	H18		750		H18						
	H19		750		H19						
	H20		750		H20						
	累計		3,702		累計		1,474				
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	平成17年9月の議会に上程し、計画どおり本年1月に手数料の完全無料化を実施した。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	環境農政部清掃事業所
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 ④ 検討中				
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(手数料の見直し【動物(ペット)死体処理手数料】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年度から、動物(ペット)の死体処理手数料を現状3,500円を全額受益者負担(5,250円)に改正する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
	手数料改正手続き(変更後)		手数料改正(変更後)								
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	処理手数料の推移 昭和47年度～平成6年度 1体 500円 平成7年度～平成10年度 1体2,000円 平成11年度～現在 1体3,500円 平成17年6月～ 県下各市の状況調査										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	【取組み】 政策会議への付議、処理手数料改正案を議会(12月を予定)に上程するなど手数料改正の手續を進める。 【目指す効果】 ペット飼育者とそうでない者との負担の公平化を図る。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
県下各市の状況調査等						政策会議への付議、処理手数料改正案を議会に上程するなど手数料改正の手續の実施。		条例改正案議会上程			
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
	累計	0			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成18年度改正(12月議会上程予定)に向け、現在、調整中です。							
		④ B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が実行できるよう、今後もスケジュールに沿って進められたい。							
		④ B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		自己評価、現在の取組み状況を見ると、計画に実現に向けて着実に進めているようである。市民周知をしっかりと行い、円滑に改革を実行できるよう図られたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成（修正）日	平成18年10月1日
所管部課	環境農政部環境衛生課
改革予定年度	平成19年度

基本改革 項目名	一般施策改革																																																																											
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(手数料の見直し【し尿及び浄化槽汚泥処分手数料の新設】)																																																																											
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 (D) 検討中																																																																											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成19年度から公共下水道供用開始の公示の日から3年経過した区域のし尿及び浄化槽汚泥の処分を必要とする者から処分手数料を徴収する。																																																																											
改革全体の 流れ(変更後)	<table border="1"> <tr> <th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th></tr> <tr> <td>手数料改正について検討 ↓ 手数料改正協議委員会の開催</td><td>下水道未接続者の台帳整理 ↓ 条例案の作成 ↓ 政策会議</td><td>手数料対象者の把握 ↓ 条例の周知</td><td></td><td></td></tr> </table>											H16	H17	H18	H19	H20	手数料改正について検討 ↓ 手数料改正協議委員会の開催	下水道未接続者の台帳整理 ↓ 条例案の作成 ↓ 政策会議	手数料対象者の把握 ↓ 条例の周知																																																									
H16	H17	H18	H19	H20																																																																								
手数料改正について検討 ↓ 手数料改正協議委員会の開催	下水道未接続者の台帳整理 ↓ 条例案の作成 ↓ 政策会議	手数料対象者の把握 ↓ 条例の周知																																																																										
条例等の上程時期	上程予定 施行予定																																																																											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年6月...し尿及び浄化槽汚泥の処分手数料を徴収することについても検討を開始 平成17年4月...関係各課による協議委員会の設置 平成17年6月...処分手数料徴収条例案の作成 平成17年7月...政策会議に付議 平成17年11月...条例案を修正し、再度政策会議に付議																																																																											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 10月...市長に検討結果を報告 【目指す効果】 公共下水道接続者と未接続者の間に生じる負担額の不均衡是正を図る。 公共下水道未接続者の接続を促進する。																																																																											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																	
政策会議に付議 条例案の議会上程 ↓ 環境審議会に報告		処分手数料対象者の把握				処分手数料対象者へ条例の周知		納付書の様式作成																																																																				
<table border="1"> <tr> <th colspan="5">目 標</th><th colspan="4">実 績</th></tr> <tr> <th>年度</th><th>改革効果額 (千円)</th><th>その他の効果 《 》</th><th>その他の効果 《 》</th><th>年度</th><th>改革効果額 (千円)</th><th>その他の効果 《 》</th><th>その他の効果 《 》</th></tr> <tr><td>H16</td><td>-</td><td></td><td></td><td>H16</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H17</td><td>-</td><td></td><td></td><td>H17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H18</td><td>-</td><td></td><td></td><td>H18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H19</td><td>0</td><td></td><td></td><td>H19</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H20</td><td>0</td><td></td><td></td><td>H20</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>累計</td><td>0</td><td></td><td></td><td>累計</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> </table>												目 標					実 績				年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	H16	-			H16				H17	-			H17				H18	-			H18				H19	0			H19				H20	0			H20				累計	0			累計	0		
目 標					実 績																																																																							
年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》																																																																					
H16	-			H16																																																																								
H17	-			H17																																																																								
H18	-			H18																																																																								
H19	0			H19																																																																								
H20	0			H20																																																																								
累計	0			累計	0																																																																							
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見																																																																								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	処分手数料の徴収条例を平成17年12月議会に提案するため、政策会議、議案査定に付議しましたが、処分手数料の額を公共下水道使用料と同程度にすることが困難であること、また、し尿くみ取り家屋の多くが借家であることから、市民負担の不均衡是正及び公共下水道への接続促進は期待できないとして条例の制定は見送りとなりました。 これまで検討してきた結果、上記条例制定見送りの理由により、市民負担の不均衡是正及び公共下水道への接続促進を目指すという効果は期待できないため、当プランの推進は困難であると考えます。 したがって、今後は、公共下水道接続を促進する別の手法を検討する必要があります。																																																																								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進																																																																									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化																																																																									
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し																																																																									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	昨年度、検討報告書から条例案作成にいたる経過の中で検討がなされ、実施について困難であるとの方向性であることが認められる。しかしながら、市民負担の不均衡是正及び公共下水道への接続促進という使命は、何らかの方法で実現すべきである。したがって、代替手段も含め検討の継続が必要である。																																																																								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進																																																																									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化																																																																									
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し																																																																									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見																																																																								
<input type="checkbox"/> 改革終了		公共下水道の普及という課題については、市民の期待が大きい。しかし一方で、市民負担の不均衡是正が今後の普及拡大には非常に重要なことなので、そのことを踏まえ、負担金や使用料の見直し等の代替案を早急に検討すること。																																																																										
<input type="checkbox"/> 現状推進																																																																												
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し																																																																												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	都市経済部建築指導課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革											
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(手数料の見直し【道路位置指定手数料の新設】)											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	9月議会で条例改正を提案し、平成18年1月から施行済です。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17			H18			H19			H20	
		<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条例改正検討</div> <div style="display: inline-block; width: 50px; height: 10px; background-color: black; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条例改正</div> </div>			<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">条例施行</div> </div>							
条例等の上程時期	建築基準条例改正											
前年度までの取組 (箇条書き)												
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	[取組み] 平成18年1月条例施行 平成17年7月政策会議 平成17年9月議会提案 [目指す効果] 審査労力に見合った手数料を徴収することにより小額ではあるが財政負担の軽減が図れる。											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17	0			H17	100						
	H18	250			H18							
	H19	250			H19							
	H20	250			H20							
	累計	750			累計	100						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進行し、改革が終了しています。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	建設部道路安全課
改革(予定)年度	平成18年度
改革の状況	(A) 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	受益者負担の見直し(その他負担の見直し【放置自転車等移動料の見直し】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするか)	移動料と移動に係る費用とに差を生じているため、平成18年4月実施に向け見直しを行う。										
改革全体の 流れ(当初計画)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">H16 見直しに伴う基礎調査等</div> <div style="text-align: center;">H17 素案作り 政策会議付議 条例改正の周知</div> <div style="text-align: center;">H18 改正後の条例施行 改正後の移動料の徴収</div> <div style="text-align: center;">H19</div> <div style="text-align: center;">H20</div> </div>										
条例等の上程時期	9										
前年度までの取組 (箇条書き)	平成16年度…近隣市の状況調査及び分析、移動に要する費用の解析、移動料見直しに伴う放置自転車対策の検討、保管場所(地権者)の借地期間延伸の交渉・確認等										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	[取組み] 10～3月…条例改正(移動料)の周知 7月…政策会議に付議 9月…自転車等の放置防止に関する条例の一部改正 18年4月…改正条例の施行 [目指す効果] 放置自転車等の削減(モラル意識の高揚) 移動料収入と移動実費の是正を図り移動料の増収を目指す。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			移動料改定について政策会議へ付議	議案査定	条例の一部改正(案)上程	条例改正の周知					
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《放置台数》	その他の効果 《 》		年度	改革効果額	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》		
	H16					H16					
	H17					H17					
	H18					H18					
	H19					H19					
	H20					H20					
	累計	0	削減を目指す			累計	0				
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	改革スケジュールに従い、移動料改正に向けた手続きは予定どおり完了した。また市民周知については、広報はだの、ホームページ、各駅ごとに設置してある案内看板への表示や啓発指導、返還時における案内チラシにより万全を期した。その結果、4/1施行後、移動料の改正に係る苦情等は一件もなく、返還手続きでも特にトラブル、苦情等は発生する事なく現在に至っている。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。今後は引き続き市民周知を図るとともに、改革の効果の把握に努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後は引き続き市民周知を図るとともに、改革の効果の把握に努められたい。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化 <input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

		作成(修正)日		平成18年10月1日							
		所管部課		総務部財産管理課							
		改革(予定)年度		平成18年度							
基本改革 項目名	一般施策改革			改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中						
個別改革 項目名	受益者負担の適正化(その他負担の見直し【本庁舎駐車場の有料化】)				D						
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	市民の駐車場利用の公平性、利便性(特に閉庁日)を図り、安全で効率的な駐車場の管理を行う。 平成17年度に、有料化について再検討し、その検討結果に基づき実施する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20						
	← 検 討 →		← 検討結果による実施 →								
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年度:有料について検討を行う。 <検討状況> ・有料化に伴う人(管理人)の配置、施設設置等の経費がかかるため、費用対効果の検討が必要である。 ・閉庁日の利用状況は、20台程度であり、台数を考えると駐車料金では、賄えないと思われる。 ・他市の状況を調査 西庁舎側駐車場については、市民等の要望で休日等の閉庁日には、条件付きで有料にて貸し付けている。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	【取組み】 17年度における検証結果を踏まえ、実施の可否を決定 【結論】 利用実態調査の結果も踏まえ、採算を取ることは不可能(実施すれば赤字)であるとの結論に達し、有料化を見送ることとした。 【目指す効果】 公共施設利用の負担公平化										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←		検 討		← 実施の可否の決定 →							
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18				H18						
	H19				H19						
	H20				H20						
累計				累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	休日における利用実態調査を行った結果、有料化していない現段階でさえ、利用者は思いのほか少なく、このことから、事業を具体的に実施する場合の人員費や設備費を回収することは不可能であるとの結論に達したため、有料化を見送ることが妥当である。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	所管部署において、本庁駐車場の実態調査をもとに、費用対効果の検討がされており、これによると、有料化は現状では時期尚早であり、改革の効果が見られないと判断せざるを得ない。 内部評価としては、当該改革項目を見送るものとし、外部評価の賛同を得ることとしたい。(なお、この場合、市民等に説明の必要がある。)							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		現在の改革項目の内容について、実施しても効果がマイナスとなるならば、内部評価にあるように、見送ることはやむを得ない。しかし今後は、市の財源涵養のためにも低廉な費用で有料化が可能な代替手段を別途、検討していくこと。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(見送り)											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	企画部行政改革室
改革(予定)年度	平成16年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中			
個別改革 項目名	組織の見直し										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	これまでも、社会環境の変化や新たな行政需要に適切に対応するため、組織の見直しを図ってきた。 今後も、引き続き地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な執行体制の確立に向けて、組織や定数を見直していく。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	次年度組織検討		次年度組織検討		次年度組織検討		次年度組織検討		次年度組織検討		
条例等の上程時期	次年度組織決定		次年度組織決定		次年度組織決定		次年度組織決定		次年度組織決定		
前年度までの取組 (箇条書き)	H15年度...課題への対応:地域防災課、商工観光課の改組、森林づくり課の設置等 (H16年4月) 機能の集約化:水道局の改組(3課 2課)等 関連業務の整理統合等:開発調整課と開発審査課の統合 H16年度...課題への対応:下水道部の再編(4課 3課)、公有地調整担当の設置等 (H17年4月) 機能の集約化:行政改革室設置 事務の所管替えによる機能化:市史編さん業務を総務部から生涯学習部へ H17年度...課題への対応:国県事業推進課の設置、介護保険課の班の再編等 (H18年4月) 機能の集約化:農産課の班の再編等										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	[取組み] 6月...各課等意向・状況照会 7月～8月...各課等とのヒアリング実施					9月～10月...第1次企画部案作成 11月...第2次ヒアリング 2月...行財政改善推進委員会付議					
	[目指す効果] 行政ニーズに適應した組織の構築 「最小のコストで最大の市民サービス」を実現する組織の構築										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		各課等意向	状況照会		第1次企画部案作成	第2次ヒアリング実施		職員課等との調整	第2次企画部案作成	行財政改善推進委員会付議	最終調整
改革の 効果 (「職員 数の見 直し」 に含 む)	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《削減数》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《削減数》	その他の効果 《 》			
	H16	199,105	29		H16	200,540	29				
	H17	291,634	24		H17	294,439	24				
	H18	291,634	19		H18		20				
	H19	291,634	13		H19						
	H20	291,634	15		H20						
	累計	1,365,641	100		累計	494,979	73				
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	組織の見直しは、行政の永遠のテーマである。常にさまざまな行政需要及び課題が生じており、これに有機的かつ弾力的に対応し、質の高い市民サービスを提供するためには、事業の進捗状況に応じた無駄のない柔軟な組織が必要であり、各部署との十分な調整を行いながら、市民サービスの向上を期す。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	自己評価にあるように、組織の見直しは、常に新たな行政需要及び課題が生じており、これに対応した質の高い市民サービスを提供するためには、行政需要に適った柔軟な組織が必要であり、各部署と十分な調整を行いながら、一方では職員数の削減に繋がるよう進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		組織の見直しに当たっては、新たな行政需要及び課題に対応した質の高い市民サービスの提供を目指して、常に点検を行い、総合力、効率性の観点に配慮しながら「最小のコストで最良、最大の市民福祉」を実現できるよう努められたい。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	企画部財政課
改革(予定)年度	平成16年度

基本改革 項目名	一般施策改革				改革の状況				A B C D				全部実施 一部実施 実施準備中 検討中			
個別改革 項目名	未収金対策の強化															
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	公平・公正な市政運営上の重要課題である未収金対策について、横断的・全庁的な対策の推進を図るための「未収金対策会議」を開催する。また、対策会議において協議・検討した結果を各課等の施策に反映し、徴収率の向上を図ることにより、行革推進プランに掲げる目標値（平成20年度における滞納繰越分徴収率を15%）の達成に努める。															
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20							
	<div>←未収金対策会議の開催及び目標値達成に向けた進行管理等→</div> <div>←新たな未収金対策の検討・導入準備等→</div> <div>←新たな未収金対策の実施→</div>															
条例等の上程時期																
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	<div>(各課等における取組み)</div> <div>電話・戸別訪問等による催告等、収納率向上に向けた取組みを実施</div> <div>日曜日納税相談窓口を開設し、閉庁日における納付及び納税相談に対応するなど、納税者の利便性を高めるための納付環境の整備・拡充への取組み</div> <div>(未収金対策会議における取組み)</div> <div>平成16年6月の設置以来、通算9回の会議を開催し、収納率向上に向けた進行管理、未収金の解消に向けた新たな対応策及び組織の在り方等に関する協議・検討</div> <div>各課における取組状況及び収納実績等を把握・分析するため、四半期ごとに実績報告を集計・分析</div> <div>未収金の解消に向けた新たな対応策等に関する協議・検討</div>															
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	<div>[取組み] 滞納者に対する訪問催告、財産差押えや支払督促等、各課等における未収金対策の強化推進</div> <div>未収金対策会議の開催(各課等の取組みの進行管理、未収金対策の強化に関する協議・検討を行う。年4回開催予定。)</div> <div>行財政改善推進委員会への報告等、全庁的取組みの推進</div> <div>市民の理解・協力促進のための情報提供(公表)等の実施</div> <div>[目指す効果] 数値目標(平成20年度における滞納繰越分の徴収率を15%まで引き上げる。)の達成に向けた対策の強化・推進により、未収金の着実な解消を目指す。</div>															
4	5	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
会議の開催		<div>←新たな対応策等に関する協議・検討→</div> <div>←新年度事業及び予算への反映等→</div> <div>←新年度実施事業の導入準備等→</div>														
改革の 効果	目 標				実 績											
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《情報・意見交換の実施》	その他の効果 《ノウハウの共有》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《情報・意見交換の実施》	その他の効果 《ノウハウの共有》								
	H16	-			H16	-										
	H17		年間4回の会議を開催	各課の取組み等/ノウハウの共有	H17		複数課の連携による徴収実施等	実績報告等を徴収事務に反映								
	H18		年間4回の会議を開催	各課の取組み等/ノウハウの共有	H18		児童福祉課 ・納税課									
	H19				H19											
	H20				H20											
	430,000															
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見												
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	17年度までに実施した未収金の性質別分類及び組織に関する各課等の意見の集約結果等を基に、今後は具体的な施策に関する協議・検討を進め、対策の強化・推進を図る。また、各課取組みの温度差を解消するため、引き続き全庁的な進行管理を行いながら目標数値の達成に向けた努力を継続する。なお、未収金対策の現状等については、平成18年5月開催の部課長会議へ報告したが、進捗よく状況等については、今後も定期的に行財政改善推進委員会等への報告を行うとともに、市民への情報提供(公表)等を実施する。												
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進													
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化													
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し													
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	収納実績等の把握・分析の結果及びどのように具体的に反映させていくの不明である。日曜日の相談窓口に続き、H18.7より連絡所での収納が開始されたが、集めやすさ・払いやすさを考えの中心に置き、進行管理をより厳しくチェックの上、検証結果に基づく具体的な方法や新たな強化策を併せて検討し、より戦略的に進行強化を図る必要がある。												
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進													
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化													
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し													
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見												
<input type="checkbox"/> 改革終了		日曜相談窓口及び連絡所での収納の開始等、改革に取り組んでいるが、期待する効果が認められない。 今後は関係各課等との連携強化を更に進め、加えて新たな強化策の導入を検討し、確実に効果をあげること。														
<input type="checkbox"/> 現状推進																
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化																
	<input type="checkbox"/> 見直し															

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部納税課
改革(予定)年度	

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A B C D		全部実施 一部実施 実施準備中 検討中	
個別改革 項目名	未収金対策の強化 【市税】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成20年度末までに市税の徴収率を現年課税分 97.7%を98.5%・滞納繰越分 11.1%を15.0%に向上させる。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	納税催告(文書・電話・臨戸)・日曜納税窓口の開設・差押等の処分の執行・換価・執行停止処分										
	夏季・冬季の特別滞納整理										
条例等の上程時期	口座振替の促進										
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成13年10月より滞納管理システムを導入し、閉庁時でも滞納整理ができる環境を整備した。 平成15年度より納税課の組織を見直し、25万円以上の高額滞納者に密度の濃い滞納整理を実施した。 平成16年度から日曜納税窓口を開設し、納税環境を整備した。 平成16年度から差押・参加差押処分件数の個人目標を設定した。 夏季特別滞納整理、税3課により冬季滞納整理、夜間の定期的臨戸訪問等を引き続き実施。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	<div><div>(取組み)</div><div>公民館、連絡所での納税窓口の拡充(7月から) インターネットや県との共同による不動産公売の実施</div><div>口座振替率の向上のため振替未加入者全員に口座振替依頼書を同封</div></div> <div>【目指す効果】 差押財産を公売することで、強制徴収及び不良債権の処理ができる。市役所連絡所でも土日に納付できる納税環境の整備が図れる。 口座振替による安定的な徴収率の向上が図れる。</div>										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
非口座納税者への納税通知書 に口座振替依頼同封		臨戸訪問の実施									
		差押不動産の調査・鑑定				公売準備		インターネットや県との共同公売の実施			
		市役所での日曜納税窓口及び市役所連絡所・公民館での納付窓口の拡充									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《現年徴収率》	その他の効果 《滞繰徴収率》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《現年徴収率》	その他の効果 《滞繰徴収率》			
	H16		97.86%	11.32%	H16		97.90%	12.30%			
	H17		98.05%	12.70%	H17		97.90%	12.60%			
	H18		98.20%	13.00%	H18						
	H19		98.35%	13.80%	H19						
	H20		98.50%	15.10%	H20						
累計	204,107			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	連絡所・公民館での納付場所の拡充や口座振替の促進などの納税環境整備や早期の滞納者への催告・納税相談や担税力のある滞納者に対しての滞納処分それに伴う公売実施など目標達成のための施策を実施する。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	前年同時期に比べて、現年分の徴収率が落ちている。税制改正の影響もあると考えられるが、好ましい状況ではない。 7/1から連絡所における土・日納付受付が始まり、2駅の連絡所の実績が大変良いようである。これは総体的に見てどのようなことが言えるのか、また、これまでの日曜の相談・収納はどのような状況で効果はどうか、状況把握と的確な分析が必要で、これを明示するとともに、集めやすさ・払いやすさを考え、新たな強化策を併せて検討し、戦略的に進行強化を図るべきである。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		連絡所・公民館での収納開始等、改革に取り組んでいる。しかし、現年分の徴収率が落ちており、総合的に見ると期待する効果が認められない。 今後は、新たな強化策の導入を検討し、確実に効果をあげることに。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	健康福祉部国保年金課
改革(予定)年度	平成16年度
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	未収金対策の強化 【国民健康保険税】										
改革の内容 (いつまでに・何を・ どうするのか)	平成20年度末までに国民健康保険税の徴収率を現年課税分93.0%・ 滞納繰越分15.0%に向上させる。										
改革全体の 流れ(当初計 画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	滞納者への電話催告・日曜納税窓口の開設・文書催告等										→
	10期以上の滞納者及び資格証・短期証世帯への納税相談										→
	口座振替勧奨、休日・夜間の訪問徴収										→
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年度より日曜納税窓口を開設し、納税環境を整備した。 新規滞納者に対し、電話催告と訪問徴収を実施した。 口座振替の訪問勧奨や申込書を送付し、振替率の向上を図った。 滞納者への給付金で未支給の人について訪問し、滞納分へ充当した。 短期証・資格証を前提とした納税相談を実施した。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>【取組み】</p> <p>口座振替申込み用の返信用封筒を作成し、振替率の向上を図る。</p> </div> <div> <p>従来からの未収金対策を継続していくとともに、新規滞納者の徴収の強化と滞納者の実態調査・財産調査を推進する。</p> </div> </div> <p>【目指す効果】 新たな滞納を増やさないため、新規滞納者への徴収対策を強化する。実態調査・財産調査を強化し、的確に執行停止を実施することで、実態に合った徴収ができる。</p>										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
別添年間スケジュール表のとおり											
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《現年徴収率》	その他の効果 《過年徴収率》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《現年徴収率》	その他の効果 《過年徴収率》			
	H16	0			H16		91.5%	8.8%			
	H17	0			H17		92.1%	8.8%			
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0	93.0%	15.0%	H20						
	累計	158,364			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成17年度の徴収率については、前年度の91.5%を上回り、今後も新規滞納者対策を重点的に行っていく。また、滞納分については、従来の臨戸訪問徴収などを行うとともに、財産調査等を前提とした執行停止を絡め、効率的な方策を実施していく。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	前年同時期に比べて現年・過年ともに落ちている。税率改正の影響もあると考えられるが、好ましい状況ではない。 7/1から連絡所における土・日納付受付が始まり、2駅の連絡所の実績が大変良いようである。これは総体的に見てどのようなことが言えるのか、また、これまでの日曜の相談・収納はどのような状況で効果はどうか、状況把握と的確な分析が必要で、これを明示するとともに、集めやすさ・払いやすさを考え、新たな強化策を併せて検討し、戦略的に進行強化を図るべきである。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									

外部 評価	今後の進め方	評価の意見
	<input type="checkbox"/> 改革終了	連絡所・公民館での収納開始等、改革に取り組んでいる。しかし、現年・過年ともに徴収率が落ちており、総合的に見ると期待する効果が認められない。 今後は、新たな強化策の導入を検討し、確実に効果をあげること。
	<input type="checkbox"/> 現状推進	
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化	
	<input type="checkbox"/> 見直し	

平成18年度
国民健康保険税徴収事務年間スケジュール

2006/12/14

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通 納 税 相 談 年	納税相談											
	日曜日の納税相談・徴収											
新 規 滞 納	電話催告											
	滞納整理票、催告書、呼出通知（いずれも毎月）（いずれも通年としては 新 ）											
短 期 証 ・ 資 格 証	18年度新規滞納者 訪問催告											
	納税推進員訪問催告・徴収（通年）（7・8月は「特滞」の健康福祉部分を訪問）（8月中旬以降は18年度新規滞納者）											
納 不 付 履 誓 行	催告書・呼出通知（いずれも通年としては 新 ）											
	17年度分を全納した 資格証世帯に短期証（5/1 から有効）を送付（4/20頃）											
実 欠 態 損 調 査 ・ 資 格 適 正 化	通から短変更対象者納税相談（A）											
	（短・資）納税相談（B）											
口 給 座 付 振 金 替 ・ 納 付 書 未 受 領	資格証発送											
	一定額納付で資から短と通知											
新 資・未納付未相談者 訪問（職員・推進員）	新 電話催告											
	通から短変更対象者呼出通知											
新 資・未納付未相談者 差押予告通知・勤務先電話催告	A・B未相談者の納税相談（C）											
	A・B・C未相談者の納税相談（D）											
新 納税推進員訪問催告	催告書、短・資への切替予告（通年としては 新 ）											
	（催告・切替予告等に応じない者）通から短へ											
新 納税推進員訪問催告	市外実態調査・市内実態調査・財産調査・執行停止（含（資）高額滞納者の預貯金調査 差押予告通知 差押）											
	新 納税相談等で執行停止の検討が必要な者を抽出（～9月）。不動産非所有者について預貯金調査（9月・10月）。無財産者は執行停止（11月）											
新 納税推進員による不現住調査（5月～7月の重点実施期間 新 及び随時（訪問催告時、納税通知書・被保険者証戻り時））	社会保険加入状況調査 資格喪失処理											
	市民課へ職権消除依頼（外国人は本課で資格喪失処理）											
住登外不現住者職権消除	公示送達											
	新年度納付書の早期発送											
市税の口座振替利用者へ口座振替勧奨通知	新 納税通知書に 口座振替依頼ハガキ同封											
	非口座リスト打出											
口座振替勧奨ポスターの掲示	給付金未受領者訪問・通知											
	国保年金課・市民課の窓口で 口座振替勧奨 及び 口座振替依頼書の受付											

- ・ 新 は、18年度からの新たな取組み
- ・ は、国保年金課職員全員による取組み
- ・ は、徴収担当以外の国保年金課職員が関与（実施）する取組み

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部教育総務課
改革(予定)年度	H16年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善(外部委託内容の見直し【幼稚園業務員委託の見直し】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	幼稚園の業務員の委託業務内容を精査し、適正な勤務時間を算出し委託の削減に努める。また、幼保一体化に伴い、施設の共有化による業務員の配置についても見直す。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20						
	勤務時間を4時間30分から3時間30分に削減	勤務日を週4日とした。 広畑幼稚園については、保育園の業務員に一元化し幼稚園を廃止	勤務日の見直し(勤務日を月・水・金とする) 幼保一体化に伴う業務員の配置の見直し	幼保一体化によるすえひろ及びつるまきだいの業務員の配置の見直し	幼小一体化に伴う大根及び西の業務員配置の見直し						
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	H16:勤務時間を平日(月曜日～金曜日、第2・4水曜日を除く)3時間30分に削減、第2・4水曜日は、勤務を要さない日とした。 H17:勤務時間を平日(月曜日～金曜日、水曜日を除く)3時間30分に削減、水曜日は、勤務を要さない日とした。ひろはた幼稚園の業務員は、保育園の業務員が兼務することとし、幼稚園の業務員は廃止した。										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 勤務日の見直し(勤務日を月・水・金とする) 幼保一体化に伴う業務員の配置の見直し										
	[目指す効果] 経費の削減										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
見直し後の幼稚園業務員委託											
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16	0			H16	3,334					
	H17	0			H17	4,374					
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
	累計	0			累計	7,708					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	勤務時間の基本は、園児の保育時間とするが、軽作業や電話対応が業務の中心となることを考慮し、必要最低限の勤務時間とした。また幼保一体化に伴い、業務員の配置を検討した結果幼稚園業務員の削減ができた。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が実行されている。今後とも幼稚園と密に連絡を図りながら状況を把握し、適切な業者指導及び費用対効果の検証を行いながら、改革が計画どおり実行できるよう進められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後とも改革が計画どおり実行できるよう進められたい。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進										
	<input type="checkbox"/> 進行強化										
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	都市経済部観光課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										改革の状況	A 全部実施 ①B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中		
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 (外郭団体等の見直し【秦野市観光協会】)													
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成19年度を目途に、観光協会が自立した組織に改革するための支援をする。 (観光振興による地域経済の波及効果を考えるとき、民間とのパイプ役である観光協会が自立する必要がある。そのための支援は、当面、プロパー職員の配置(専門的知識のある臨時職員の増員)、法人化の支援等により補助金が増額となる。)													
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20					
	検討委員会		事務局長募集・採用		事務局長募集・採用		観光ボランティア							
条例等の上程時期														
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成14年6月……観光協会に於いて「秦野市観光協会組織等検討委員会」を設置した。 平成14年12月～平成17年2月……協会の充実、発展の見地から協会の将来像、あり方について13 回にわたり検討を重ねてきた。平成17年度においては検討してきた内容(組織、事務局、事業等)を 試行し検証することとなり、まず、観光事業経験者の事務局長を採用することとなった。 7月民間出身の事務局長を採用													
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 7月民間出身の事務局次長を採用 和太鼓支援組織及び観光ボランティア組織の設立準備 平成19年度に自立に向けての規約、制度等の整備及び長期財源計画の作成 [目指す効果] 平成14年から検討してきた内容(事務局、組織、事業、財政等)について試行して、 実効性等について検証する。													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
● 検討委員会	5/31	事務局次長 募集	●事務局次長採用	●和太鼓支援者募集	●和太鼓支援者採用	観光ボランティア組織の設立準備(H19・4・1発足予定)	自立に向けての準備(規約等の改正、長期財源見通しの計画等)							
改革の 効果	目 標				実 績									
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》						
	H16				H16									
	H17				H17	936								
	H18				H18	4,926								
	H19				H19									
	H20				H20									
	累計	0			累計	5,862								
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見										
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	今年度、7月1日付けで事務次長を採用。今後も引き続 き、民間での観光事業経験のある事務局長を中心に今ま で検討してきた内容を試行し、検討委員会の中でさらに 検討を加え、協会の自立化に向け促進する。										
		①B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し											
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	自主・自立に向けた改革を着実に推し進め、改革の効 果が実を結ぶよう、今後、さらに具体的取組みをスケ ジュールに沿って進められたい。										
		①B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化											
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し											
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見										
<input type="checkbox"/> 改革終了		自主・自立に向けた改革が実行できるよう、今後もス ケジュールに沿って進められたい。												
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進														
<input type="checkbox"/> 進行強化														
	<input type="checkbox"/> 見直し													

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	都市経済部商工課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革		改革の状況		(A) 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中						
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 (外郭団体等の見直し【中小企業振興公社】)										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	本公社の設立目的(大秦野団地工業協同組合が工場アパートを建設するに当たり、高度化資金を借り入れる受け皿の役目。現在は協同組合で借りることが可能)や、現在の事業内容(人材育成事業や経営講座の開催等ソフト事業)から、公社の存続の必要性が希薄であると判断し、本公社を解散する。 平成16年度及び17年度理事会での協議を経て、平成17年度末で解散した。(平成18年7月末を目途に清算結了とする。)										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	解散の検討 海老名市調査 解散の検討		解散議決 解散に伴う調整		解散 解散後の清算事務						
条例等の上程時期											
平成17年度までの 取組 (箇条書き)	理事会において、公社の存続について、検討する。 海老名市(平成15年度に中小企業振興公社解散)に、解散の経過等を調査する。 県工業振興課と公社の意義、解散について協議 理事会において、解散の決議(平成18年3月2日) 平成18年3月31日解散 解散登記、主務官庁(県)への届出等の清算事務(平成18年4月か										
平成18年度の 取組 (フロー)及び 目指す効果	[取組み] 4月～7月…清算事務 [目指す効果]										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←		→									
解散後の清算事務処理											
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16	-			H16	-					
	H17	-			H17	-					
	H18				H18						
	H19				H19						
	H20				H20						
累計	-			累計	-						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	中小企業振興公社を平成18年3月31日をもって解散し、同年8月16日に清算結了することができた。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	(A) 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が完了できた。今後もスケジュールに沿って適正な清算結了をされたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化									
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し									
外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり改革が完了できたと認められる。								
	<input type="checkbox"/> 現状推進										
	<input type="checkbox"/> 進行強化										
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	環境農政部森林づくり課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 (外郭団体等の見直し【財産区】)											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年中に財産区議会制度・特別会計予算の効率的執行及び財産区有林の管理保全体制の改革について検討を行い、平成18年度から実施する。 平成18年度：議員報酬減、予算の効率的執行に関する改革実施、年2回の山林調査 平成19年度：議員定数減、山林監視人廃止、財産区議員による財産区有林の巡視											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20			
	改革検討委員会		改革検討委員会 財産区議会へ報告・予算措置		改革一部実施		改革実施					
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年12月…第1回委員会開催(財産区の現状及び課題の確認) 平成17年12月…第8回委員会開催(検討結果報告の確認、財産区管理者へ報告) 平成18年3月…財産区議会において平成18年度からの議員報酬の減と平成19年2月からの議員定数減を議決											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 4月…議員報酬の減 2月…議員改選(定数減) 5月・1月…山林調査 3月…定例会 5月…地元調整 【目指す効果】財産区の将来の方向性を見据えた改革を行う。											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	山林調査								山林調査			
		定数減に関し地元調整								議員改選	議会	
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17				H17							
	H18				H18							
	H19				H19							
	H20				H20							
	累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	検討委員会での結果を受け、平成18年度から改革に着手し、一部実施済みです。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	検討委員会から提示された具体的な改革案について、着実に実行できるよう進められたい。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が実行されている。今後も改革が計画どおりに実行できるよう進められたい。										
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進												
<input type="checkbox"/> 進行強化												
<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部契約検査課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		① 全部実施 ② 一部実施 ③ 実施準備中 ④ 検討中			
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【入札制度の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成18年4月から電子入札制度を導入するとともに、入札や検査など制度全般の改善を図る。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	現行システムの見直し、改修(変更後)		業者管理システムの導入		電子入札システム稼働						
	入札・検査制度の改善		電子入札試行運用								
条例等の上程時期			2月								
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	協議会での各種調整、打合せ 現行システムの見直し 現行システムの改修 工事成績評定要領の改正 秦野市小規模工事等契約希望者登録要綱制定 電子入札システムに関する説明会の開催										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] 電子入札対象案件の業種、金額の拡大の検討 条件付き一般競争入札での電子入札の実施 電子入札実施結果の検証 [目指す効果] より透明で公平・公正な入札制度の確立										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
電子入札の実施					実施結果の検証、対象案件の拡大の検討			拡大対象業者説明、試行の実施			
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	11,109			H17	9,456					
	H18	6,000			H18						
	H19	6,000			H19						
	H20	6,000			H20						
	累計	29,109			累計	9,456					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	① 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	電子入札システム全体の本稼働に向けた関係諸規定の整備は整い、平成18年4月以降条件付き一般競争入札により執行する工事を対象に電子入札を実施している。今後はこの実施結果の検証を行い、対象案件の拡大や制度について検討を行う。							
		② 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		③ やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		④ 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	① 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が着手された。今後はシステム全体のレベルアップを図り、利用しやすいものとなるよう努めるとともに、電子入札のメリットを生かした対象案件の拡大や諸制度の整備を行い、効果を上げられるよう図られたい。							
		② 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		③ やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		④ 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		電子入札は本来、一般競争入札と連動したものでなければ意味がない。時代にあわせて制度を変更すべきであり、指名競争入札を抑制し、一般競争入札に切り替えるべきである。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

【別紙】

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	総務部財産管理課
改革(予定)年度	平成17年度
改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【公用車管理方式の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成17年度から配属共用車の「管理体系の見直し」を行い、効率的に利用されていない車両を「車両集中管理方式」に切替え、公用車の効率的な運用を行うもの。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
	←→ 管理体系見直しの準備		←→ 稼働状況調査・検討		←→ 実施		←→ 稼働状況調査・検討		←→ 実施		
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	配属共用車の稼働状況等実施 配属共用車の「管理体系の見直し」に実施に向けての関係部署と調整 平成17年5月配属共用車の一部を「車両集中管理方式」による共用(貸出)車に移行										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	[取組み] 廃車4台										
	[目指す効果] 公用車両の維持管理費の節減										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
←	廃車4台		→								
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	7,149			H17	8,152					
	H18	7,448			H18						
	H19	5,734			H19						
	H20	3,495			H20						
	累計	23,826			累計	8,152					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成17年5月から配属共用車の一部を「車両集中管理方式」による共用(貸出)車に切替え、より効率的な運用を行っている。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおりに改革が進められている。今後も公用車の効率的な運用に努められたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		計画どおりに改革が進められている。今後も公用車の効率的な運用に努められたい。									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	健康福祉部高齢福祉課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況	(A) 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中				
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【ふれあい運動会の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	これまで、高齢者、身体障害児・者、知的障害児・者、精神障害児・者及びひとり親家庭等を対象にふれあい運動会を実施してきたが、平成16年度をもって事業を廃止した。 また、平成17年度は市制施行50周年事業の中で10月16日ふれあいスポーツ大会及びスポーツ教室として、対象者を限定せず子供から高齢者までより多くの市民が参加できるよう体力測定をメインとした事業を実施した。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20	事業廃止 →					
	・ふれあい運動会反省会において事業の廃止について関係団体へ説明 ・部内検討会開催	・実行委員会開催 ・部内検討会開催 ・10月16日ふれあいスポーツ大会実施									
条例等の上程時期											
前年度までの取組 (箇条書き)	ふれあい運動会の参加者は、老人クラブ、身体障害者福祉協会等実行委員会を構成する4団体の会員であり、ノーマライゼーション及び健康づくりの推進のため、平成16年度をもって現事業を廃止した。 事業廃止について、関係団体に報告(平成16年11月反省会)。 部内検討会において、市制施行50周年事業の中で健康スポーツまつりの1事業として実施することを検討した(平成16年7月、11月)。										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 健康スポーツまつり実行委員会において開催方法や内容を検討する。 10月16日ふれあいスポーツ大会及びスポーツ教室を開催する。 【目指す効果】参加者を限定せず、市民が誰でも参加することができるようにすることで、より多くの市民に社会参加の促進といきがいづくりを図り、思いやりのある福祉社会を目指す。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
・実行委員会の開催	・部内検討会	・関係団体との調整 ・開催準備	・実行委員会 ・部内検討会		・実行委員会 ・部内検討会	健康スポーツまつり・スポーツ教室実施	・実行委員会				
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16	-			H16	-					
	H17	793			H17	793					
	H18	793			H18						
	H19	793			H19						
	H20	793			H20						
	累計	3,172			累計	793					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	ふれあい運動会は平成16年度をもって事業廃止し、17年度は市制施行50周年事業の中で健康スポーツまつりの1事業として10月16日延べ約3,000人の参加のもと、ふれあいスポーツ大会及びスポーツ教室を開催した。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	健康福祉部高齢福祉課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【高齢者スポーツ広場設置助成事業の廃止】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成6年4月から本事業を実施しているが、ここ数年は広場設置の要望がなく、また、高齢者の趣味が多様化しているため、平成18年度以降は本事業を廃止し健康づくり事業を中心に事業を転換していく。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16		H17		H18		H19		H20		
			平成17年度廃止								
条例等の上程時期											
前年度までの取組 (箇条書き)	・平成6年4月から本事業を実施 ・平成16年度をもって事業の廃止を検討(平成17年度末要綱廃止)										
今年度の取組 (フロー)及び 目指す効果	【取組み】 昨年度は、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の見直し年度であり、本年度から施行される新しい介護保険制度に対応するため、検討委員会を設置し検討を行った。その結果、高齢者の意識の変化や多様化を受け本事業を廃止し、本年度から新たに創設した地域支援事業等において介護予防の取り組みを進めていく。 【例】いきがい型デイサービスやミニデイサービスでの介護予防プログラムの実施										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
						介護予防事業の充実					
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17	0			H17	0					
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
	累計	0			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	介護保険法の改正に伴い、介護保険事業計画とともに高齢者保健福祉計画の見直しを行っている。今回の見直しは、介護予防が重要なテーマとなっており、介護予防のため健康づくりを充実していくことが求められているので、単に本事業を廃止するのではなく、高齢者の意識の変化や多様化に合わせ、他の健康づくり事業などへの転換等を含め見直しを進めた。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり進められ、改革が終了している。今後も市民意見の把握に努め、効果の点検を図りたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後も市民意見の把握に努め、効果の検証をされたい。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	環境農政部環境衛生課
改革(予定)年度	平成17年度

基本改革 項目名	一般施策改革				改革の状況	A B C D	全部実施 一部実施 実施準備中 検討中				
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【剪定枝資源化推進事業の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	平成14年度から実施してきた拠点回収方式による資源化について、対象地区を拡大するとともに、平成17年度から新たに一般家庭を対象に、電話予約による剪定枝の戸別収集及びチップ化する方法を加え、事業の拡大を図ります。 (現状は、全世帯を対象にステーション収集し、資源化することを検討中。)										
改革全体の 流れ(変更後)	H16	H17	H18	H19	H20						
		拠点回収・チップ化の実施		公共施設分の資源化の実施							
			全市的な実施に向けた検討	全市的な収集・チップ化の実施							
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成14年度 東地区をモデル地区として開始。 以後 平成16年度まで 実施地区を5地区に拡大して実施。 平成17年度 6月～10月 実施手法の検討 11月 政策会議に付議 11月～1月 手法、実施範囲の再検討(公共施設からの発生分、ステーション収集の検討)										
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	<div> <div>〔取組み〕</div> <div> 4月～5月 実施手法決定(ステーション収集も検討) 6月～ 業者決定・公共施設分の収集、チップ化 </div> <div> 11月～ ステーション収集実施に向けた、収集方法、資源化(チップ化)実施場所等の検討 </div> </div> <div> <div>〔目指す効果〕</div> <div> 拠点回収による資源化から対象を全市的に拡大し、二酸化炭素の排出抑制及び焼却施設の負担軽減等環境負荷の低減を図る。 </div> </div>										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
拠点回収		地元自治会との調整	委託業者との契約			拠点回収によるチップ化の実施					
公共施設				公共施設分の収集・チップ化		年5回を予定					
全市的な収集							ステーション収集実施に向けたの検討				
<div> <div>収集、資源化の概要決定</div> <div> <div>目 標</div> <div> 年度 改革効果額(千円) その他の効果 その他の効果 </div> </div> <div> <div>実 績</div> <div> 年度 改革効果額(千円) その他の効果 その他の効果 </div> </div> </div>											
改革の 効果	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果	その他の効果	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果	その他の効果			
	H16	-	《 》	《 》	H16	-	《 》	《 》			
	H17	2,760			H17						
	H18	3,948			H18						
	H19	3,948			H19						
	H20	3,948			H20						
	累計	14,604			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	平成17年度中に市内全域での剪定枝の資源化を戸別収集方式で検討したが、公共施設発生分の取扱いやより収集量を増やすための収集方式、費用対効果などの観点から再検討が必要となったため、これらを踏まえ、平成18年度から公共施設発生分の資源化を実施し、焼却量を削減している。 今後は、全市的に実施する方法として、ステーション収集が最も効果的であることから、次年度からの実施に向けて、収集方法、資源化(チップ化)実施場所等の検討を進めていく。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	現在の状況を踏まえ、市全体の剪定枝の収集方法及び資源化システムについては、経済性、利便性及び処理方法などの課題に関して十分な検討を行い、早期にごみの減量化に寄与できるよう進行の強化を図られたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		徐々に取組みが行われている状況は認められるものの、内部評価にあるように、課題に対しては実績を踏まえ効果的に対応し、改革が実行できるよう進行を強化すること。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化											
	<input type="checkbox"/> 見直し										

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	都市経済部商工課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名		一般施策改革						改革の状況		A B C D		平成16年度 全部実施 平成17年度 一部実施 平成18年度 実施準備中 平成19年度 検討中	
個別改革 項目名		時代の変化に対応した事務事業改善 【中小企業振興・特別資金預託金制度の見直し】											
改革の内容		・中小企業振興資金の廃止（平成16年度） ・中小企業特別資金については、最新鋭の設備導入、住工混在の解消、商店街の環境整備等特別な事業活動用の資金であり、融資の内容は、金融機関からの高い評価を受けている。このため、本資金のPRを積極的に実施していくとともに、中小企業者にとってより利用しやすい融資となるよう、経済情勢に適った制度内容の見直しを適宜実施しながら、17～18年度は利用状況等、効果を検証する。											
(いつまでに・何を・どうするのか)													
改革全体の 流れ(変更後)		H16		H17		H18		H19		H20			
		←────────────────→ 利用状況の確認、融資 制度内容の検討		←────────────────→ 利用状況の確認、融資 制度内容の検討		←────────────────→ 利用状況の確認、融資 制度内容の検討							
条例等の上程時期													
平成17年度までの 取組 (箇条書き)		金融機関店長会議及び担当者会議を開催し、融資制度の利用状況等の情報交換を実施した。 中小企業振興資金融資制度について、利用者が少ないことや、県の制度融資に同内容の融資があり、市内企業も利用していることから、平成16年度をもって当融資制度を廃止した。 中小企業特別資金融資制度の規程を改正し、名称を「中小企業事業資金」に改めるとともに、融資対象業種を拡大することで、中小企業者の利用促進を図った。											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果		【取組み】 4月～3月…金融機関へ融資状況の確認、 国・県などの融資制度内容の 研究 12月…金融機関担当者会議の開催 3月…金融機関店長会議の開催 ----- 【目指す効果】 融資制度の利用促進											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
←				融資状況確認、融資内容の検討				金融機関担当者会議開催		金融機関店長会議開催		→	
								↔		↔			
改革の 効果	目 標					実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《振興資金の廃止》	その他の効果 《事業資金件数》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《振興資金の廃止》	その他の効果 《事業資金件数》					
	H16	-			H16			6件					
	H17	-	廃止		H17		廃止	6件					
	H18	-		10件	H18								
	H19				H19								
	H20				H20								
累計	0			累計	0								
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見									
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	中小企業振興資金については平成16年度で廃止。中小企業事業資金融資制度については、国や県の制度を踏まえながら、時宜に適った制度内容にしていこう努めている。									
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進										
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化										
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し										
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり資金の見直しや拡大が進められているが、それに見合った効果が出ていない。今後も中小企業振興特別資金預託金制度利用者が増加するよう努力されたい。									
B 概ね計画どおり		<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進											
C やや遅れている		<input type="checkbox"/> 進行強化											
D 遅れている		<input type="checkbox"/> 見直し											
外部 評価	今後の進め方		改革の取組みにもかかわらず、利用件数が低く、効果が上がっていないように思える。この原因を分析し、より利用しやすい制度について、随時見直す必要がある。										
	<input type="checkbox"/> 改革終了												
	<input type="checkbox"/> 現状推進												
	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化												
		<input type="checkbox"/> 見直し											

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部学校教育課
改革(予定)年度	平成20年度

基本改革 項目名	一般施策改革											
個別改革 項目名	時代の変化に対応した事務事業改善 【私立幼稚園助成制度の見直し】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	私立幼稚園就園奨励費補助金は、公立幼稚園の再編成に合わせて平成20年度までに見直し。											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17			H18			H19			H20	
	← 公立幼稚園改革に合わせて見直し →											
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	平成16年度 私立幼稚園就園奨励補助金の見直し計画案作成											
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み] ・公立幼稚園改革に合わせた見直しの推進 [目指す効果]											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
←		公立幼稚園改革に合わせた見直し										→
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17				H17							
	H18				H18							
	H19				H19							
	H20	0			H20							
	累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	公立幼稚園改革に合わせた見直し改革であり、幼保一体化や 幼小一体化などの改革が完了していない状況にあるので、公私 間格差に伴う保護者の経済負担軽減や幼児教育の振興などに おける今後の私立幼稚園の方向性が不明確な状況にある。よっ て、公立幼稚園改革の進行に合わせて進めている。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が実行できるよう、今後は具体的な改革 案及びスケジュールについて検討し進められたい。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		平成20年度の実施予定となっているが、改革の速度が遅いと考えられる。 本制度を当初導入した際の状況と現状を見比べ、制度自体の必要性及び今 後の公立幼稚園のあり方を十分に検討し、早期に改革が実行できるよう、具 体的な改革案及びスケジュールについて明示し、進行を強化して進めること。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化												
<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	教育総務部学校教育課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	時代の変化に対応した事務事業改善 【中学校選択制の導入】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	通学区域以外の中学校への入学を希望する生徒・保護者の意向に対する配慮や学校選択の機会拡大の観点から、通学区域の弾力的運用を促進する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> H16 選抜制の研究・視察 検討会・協議会開催 </div> <div style="text-align: center;"> H17 保護者説明会 希望申請書の送付 決定通知 </div> <div style="text-align: center;"> H18 学校選択制導入 </div> </div>										
条例等の上程時期											
平成17年度までの 取組(箇条書き)	・学校選択制についての資料収集、導入市視察 ・学校選択制等通学区域制度検討会を設け検討を行う。 ・児童、保護者等に対する通学区域制度に関するアンケート調査を実施										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 ・「就学指定校変更に関する審査基準」については、教育委員会議の承認を得て平成18年4月1日から施行。 ・外部を含めた検討委員会において、学校選択の取組みの検証を行う。 ----- 【目指す効果】 ・保護者や生徒の意思を尊重し、生徒が、自分の個性や特性を生かした、充実した学校生活を送ることができる選択の機会の拡大を図る。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		← 就学指定変更審査基準の改正による学校選択の拡大実施 → ← 検討委員会による協議 →									
改革の 効果	目 標					実 績					
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《選択性導入》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	0			H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	①計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	本市にふさわしい制度とするための学校選択制の導入などについて、児童・保護者等幅広い方々の意向を確認するため、アンケート調査を実施。この結果を踏まえ学校選択の機会の拡大を図るための取り組みとして「就学指定校変更に関する審査基準」を改正し平成18年4月1日施行した。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	①計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	今後も市民ニーズの把握に努め、さらに本市にふさわしいものとなるよう、制度の充実と市民サービスの向上を図りたい。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了		計画どおり進められ、改革が終了している。今後も市民ニーズの把握に努め、さらに本市にふさわしいものとなるよう、制度の充実と市民サービスの向上を図りたい。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部スポーツ課
改革(予定)年度	平成18年度

基本改革 項目名	一般施策改革										
個別改革 項目名	時代の変化に対応するための事務事業改善 【市民体育祭の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	開催の継続・廃止について、市体育協会、自治会の関係団体等との意見調整により方針を決定する。また、継続の場合は、主催については各地区で行い、実施内容についても地域で決定する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
	・市民意識調査の実施	・体育協会等関係団体と開催の在り方について検討 ・市の方針決定		・各地区体育協会支部の主催により大会を実施							
条例等の上程時期											
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・市民意識調査の実施 (結果:6割が参加しており、そのうち3割が改めるべきと応えている。そのため、均一な開催を考えることにした。) ・市体育協会等関係機関との開催の廃止・継続に向けた意見聴取 (4回開催、結果:概ね賛成) ・4月1日から支部主催により実施 (体育協会常任理事会を経て、総会により決定)										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	【取組み】 ・市体育協会各支部が主催し大会を開催(目的:地区事情に合せた大会の開催ができる。) ・大会開催委託料から補助金に変更し助成(目的:各支部の自主性を重んじる。) 【目指す効果】										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	・市体育協会各支部が主催し市民体育祭開催	・大会の開催状況について意見聴取									
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《主催者の移行》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18	0	支部主催		H18						
	H19	0			H19						
	H20	0			H20						
累計	0			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	平成17年度に関係者等と実施状況を検証し、今後の方向性について検討した結果、地域住民の健康増進、スポーツ振興、地域のふれあいの場の設定を目的として継続することとした。なお、この目的を達成するため、平成18年度より市主催から市体育協会各支部の主催に変更した。これにより、地元に着した独自性のある市民体育祭の開催が期待できる。これに伴い、委託料ではなく補助金として助成を行うこととした。なお、補助額については今後の開催状況により見直しを図っていく。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了	今後は、市から手放したからおしまいということではなく、見直しの効果の把握に努め、継続的改善を念頭に、市民とともに創意・工夫を重ねるなど、目的を達成に向けた支援が必要である。							
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		計画どおり進められ、改革が終了している。今後は、自己評価にも示されているように、地域に密着した体育祭の開催が期待されるため、改革の効果を検証するとともに、市民との協働を基本としたよりよい体育祭となるよう工夫をされたい。							
<input checked="" type="checkbox"/> 改革終了											
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input type="checkbox"/> 進行強化											
		<input type="checkbox"/> 見直し									

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	生涯学習部 文化会館
改革(予定)年度	平成19年度

基本改革 項目名	一般施策改革		改革の状況	A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中								
個別改革 項目名	時代の変化に対応した事務事業改善 【文化会館施設管理業務の見直し】											
改革の内容 (いつまでに・何を・どうするのか)	文化会館の設備維持管理業務は専門性の高いものであり、効果性・効率性を勘案し、この業務を平成19年度までに、委託化または非常勤化する											
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17	H18	H19	H20							
	施設管理設備部門の職員2名を委託化または非常勤化することを内部で調査研究した。	指定管理者の導入についても視野に入れながら、実施に向けて文化会館運営委員会等で協議する。	指定管理者等の導入についても視野に入れながら、引き続き文化会館運営委員会等で協議する。	職員2名の委託化または非常勤化の実施								
条例等の上程時期												
平成17年度 までの取組 (箇条書き)	・各種設備については老朽化のため総合計画に基づき順次更新してきている。 ・今後も、維持管理経費の増加が見込まれるため管理・運営方法の見直しに着手する。											
平成18年度の 取組(フロー) 及び目指す効果	【取組み】 施設維持管理業務の委託化については、費用対効果等を十分考慮し検討を行う。 開館後25年が経過し、老朽化が進展している。利用者の安全を第一に考えた施設の安全対策は急務であり、プランの実施との優先度、整合の検討を行う。 上記検討に加え、将来的な指定管理者制度移行も視野に入れた検討も考えたい。											
	【目指す効果】 維持管理経費の節減。市民サービスの向上。											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
←		指定管理者制度等の導入も含めて検討					運営委員会 で協議				運営委員会 で協議	→
改革の 効果	目 標				実 績							
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》				
	H16				H16							
	H17				H17							
	H18				H18							
	H19	8,400			H19							
	H20	8,400			H20							
	累計	16,800			累計	0						
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見								
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	計画どおり改革が進むよう具体的なスケジュール等について検討しているが、他方、昨今においては、会館(設備等)の老朽化の進展が予想以上に著しく、これに関する対応も検討せざるを得ない。この課題について、優先度、費用対効果、各方面の意見を考慮しながら進めたいと考えている。								
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	現在の会館機能の水準を確保しながら、効果的に運用できるシステムへの切替えを検討するとともに、指定管理者制度の導入についても併せて検討されたい。								
		B 概ね計画どおり	<input type="checkbox"/> 現状推進									
		C やや遅れている	<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化									
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し									
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見								
<input type="checkbox"/> 改革終了		着手年度を間近にして自己評価の状況は1年前とあまり変わらないように思える。プラン策定時には想定していなかった施設管理上の課題にも的確に対応しながらも、所期の目的が達成できるよう具体的な内容・スケジュールを明確に定め、進行を強化して進めること。 また、指定管理者制度の導入については、先進ケースの分析も踏まえて、メリット・デメリットを検証し進めること。										
<input type="checkbox"/> 現状推進												
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化												
<input type="checkbox"/> 見直し												

はだの行革推進プラン 進行管理シート

作成(修正)日	平成18年10月1日
所管部課	水道局水道業務課
改革(予定)年度	平成19年度

基本改革 項目名	一般施策改革					改革の状況		A 全部実施 B 一部実施 C 実施準備中 D 検討中			
個別改革 項目名	時代の変化に対応した事務事業改善 【水道料金納付書送付方法の見直し】										
改革の内容 (いつまでに・何を・ どうするのか)	平成19年度に、水道料金納付書の送付方法を現地で検針時に発行するよう に見直し、郵送料を削減する。										
改革全体の 流れ(当初計画)	H16	H17		H18		H19		H20			
	→ 機種の検討		→ 関係機関等との調整 ソフト等の検討 サーバーの設置等検討		→ ソフトの検討及びテストラン 帳票類の確認		→ 実施予定				
条例等の上程時期											
平成17年度まで の取組 (箇条書き)	改革実施に向け、検討を行い課題の抽出を行う。 ・ハンディーターミナルの機種の決定 ・検針結果のデータ処理方法について検討(サーバーを水道局に設置或いは市とのネットワーク化による処理となる方法などが考えられるが、いずれも納付書発行のソフト開発や運営費に多額な経費がかかることが分かった。)										
平成18年度の 取組(フロー) 及び 目指す効果	[取組み]ソフトの整備等が必要不可欠であり、平成18年度は、次の点を検討・調整する。 ・4～12月 問題点の整理調整 [目指す効果] ・費用対効果等の課題を含め引き続き検討を加え、納付書送付の見直し方法を決定する。 ・耐用年数の経過に伴う検針機の更新に併せ、現地で発行可能な検針票(「使用水量のおしらせ」)の表示内容を見直し、また、検針機の充電時間の節減ができるようにした。										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
問題点の整理調整											
改革の 効果	目 標				実 績						
	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》	年度	改革効果額 (千円)	その他の効果 《 》	その他の効果 《 》			
	H16				H16						
	H17				H17						
	H18				H18						
	H19	4,045			H19						
	H20	4,045			H20						
	累計	8,090			累計	0					
評価	区分	取組内容 の評価	今後の 進め方	評価の意見							
	自己 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	現地で納付書を発行する場合の問題点を抽出し、その解決方法を検討したところ、現時点では郵送料の削減額以上に納付書発行のソフト開発や運営費が高額なため費用対効果が見込めない状況にある。よって、今後さらに改善方法があるか否か模索したい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	内部 評価	A 計画どおり	<input type="checkbox"/> 改革終了	改革の実施に向けて、費用対効果等の整理を含め早急に検討を進められたい。 なお、検討結果については速やかに報告するとともに、これに基づく所管課としての考え方、方向性についてまとめられたい。							
		B 概ね計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 現状推進								
		C やや遅れている	<input type="checkbox"/> 進行強化								
		D 遅れている	<input type="checkbox"/> 見直し								
	外部 評価	今後の進め方		評価の意見							
<input type="checkbox"/> 改革終了		現行の納付書発送及びデータ処理に係る事務的経費の増大がまず問題である。他市の先進事例を参考に本市へのシステム導入を検討するなど、早急に事務改善対策に取り組むべきである。 また、自動振込みを推進することが郵送料の削減に直結すると思われるので、これについても対応策を考えること。									
<input type="checkbox"/> 現状推進											
<input checked="" type="checkbox"/> 進行強化											
<input type="checkbox"/> 見直し											